この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

【お客さま本位の業務運営】
山口フィナンシャルグループにおける主な取組状況
－　２０２２年度　－

２０２３年６月３０日
株式会社山口フィナンシャルグループ
株式会社山口銀行
株式会社もみじ銀行
株式会社北九州銀行
ワイエム証券株式会社
株式会社ワイエムライフプランニング
株式会社保険ひろば
ワイエムアセットマネジメント株式会社

目次

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて
① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率
② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン
③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率
④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン
2. 投資信託に関する取組状況
① 商品ラインアップ
② 投資信託・積立投信の契約者数
③ 投資信託残高
④ グループ３銀行におけるカテゴリ別投資信託残高比率
⑤ ワイエムアセットマネジメント運用資産残高推移
⑥ グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託の販売比率
⑦ 毎月分配型投資信託の販売比率
3. 生命保険に関する取組状況
① 商品ラインアップ
② 生命保険保有契約件数（保険ひろば・ワイエムライフプランニング）
4. その他に関する取組状況
① ＦＰ資格保有率（１級・２級）
② アフターフォロー実施状況
③ 手数料に関するご説明
④ 利益相反管理方針
⑤ ご高齢のお客さまに対する募集
⑥ 重要情報シート
⑦ お客さま本位の業務運営に関するアクションプラン
⑧ リスク性金融商品に関する販売の方針

１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

お客さまの運用成果に関する共通ＫＰＩ

ご購入いただいた投資信託・外貨建保険の運用成果の状況として、以下４点の指標を掲載します。

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率

基準日時点の保有投資信託およびファンドラップにかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標で、購入以降どの程度のリターンが生じているかを確認することができます。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

設定後５年以上の銘柄について、加重平均のコストとリターンおよびリスクとリターンの関係を示した指標で、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率

基準日時点の外貨建保険にかかる購入時以降のリターンを算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標で、購入以降どの程度のリターンが生じているかを確認することができます。

④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン

契約後５年以上保有している契約について、加重平均のコストとリターンの関係を示した指標で、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

各用語の解説

＜投資信託関連指標＞

※　運用損益　：（基準日時点の評価金額＋税引後累計受取分配金額＋累計売付金額－累計買付金額（含む消費税込の販売手数料））÷基準日時点の評価金額

※　コスト　：当該投資信託を５年間保有した場合の年平均コスト

※　リスク　：当該投資信託を５年間保有した場合の年平均リスク（収益分配金考慮後）

※　リターン　：当該投資信託を５年間保有した場合の年平均リターン（収益分配金考慮後）

＜外貨建保険関連指標＞

※　運用評価　：（基準日の解約返戻金額＋基準日の既支払金額－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算））÷契約時点の一時払保険料（円換算）

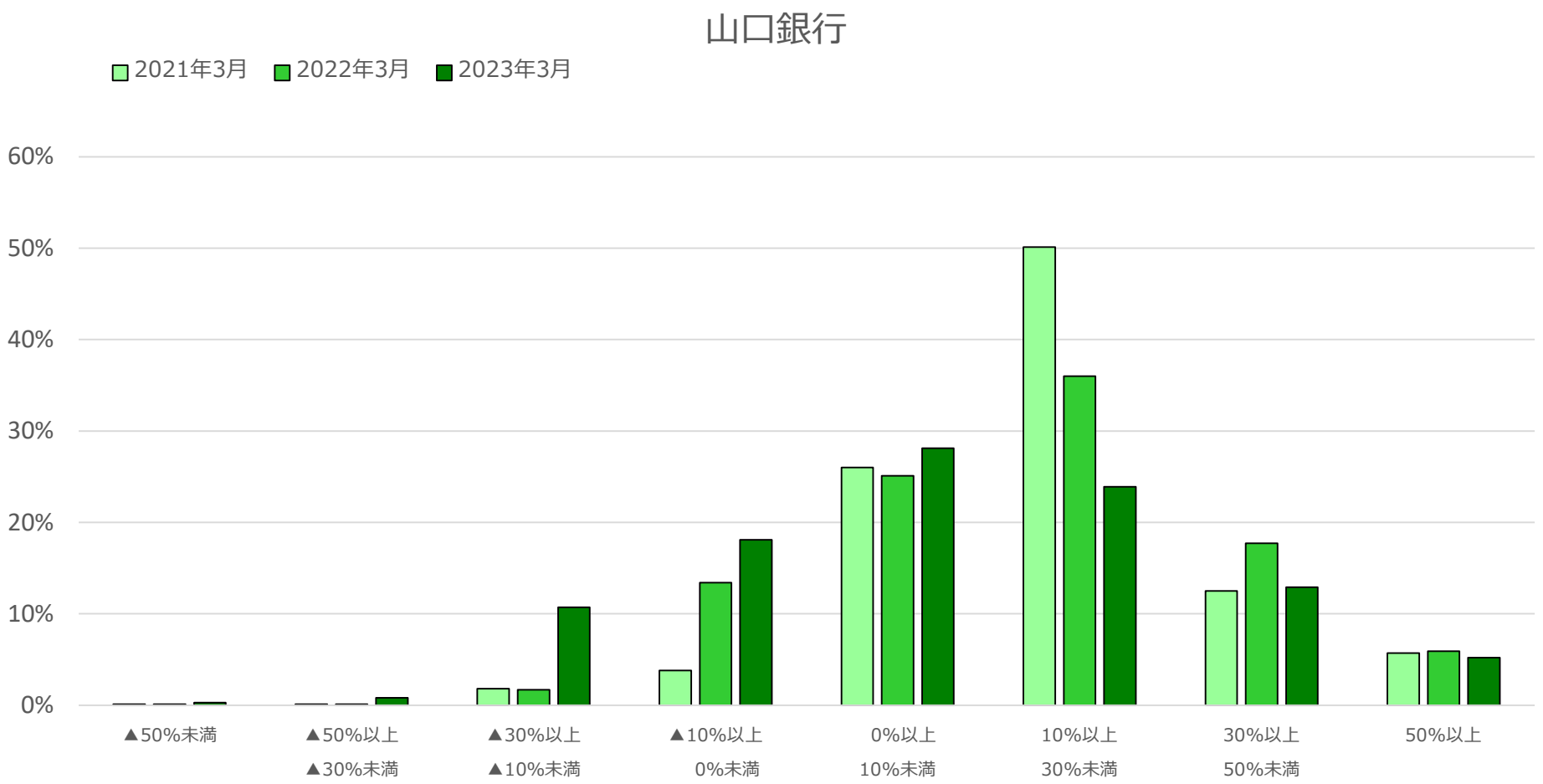
※　コスト　：基準日時点で５年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（累計支払）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標

※　リターン　：基準日時点で５年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標

１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通ＫＰＩ）：山口銀行

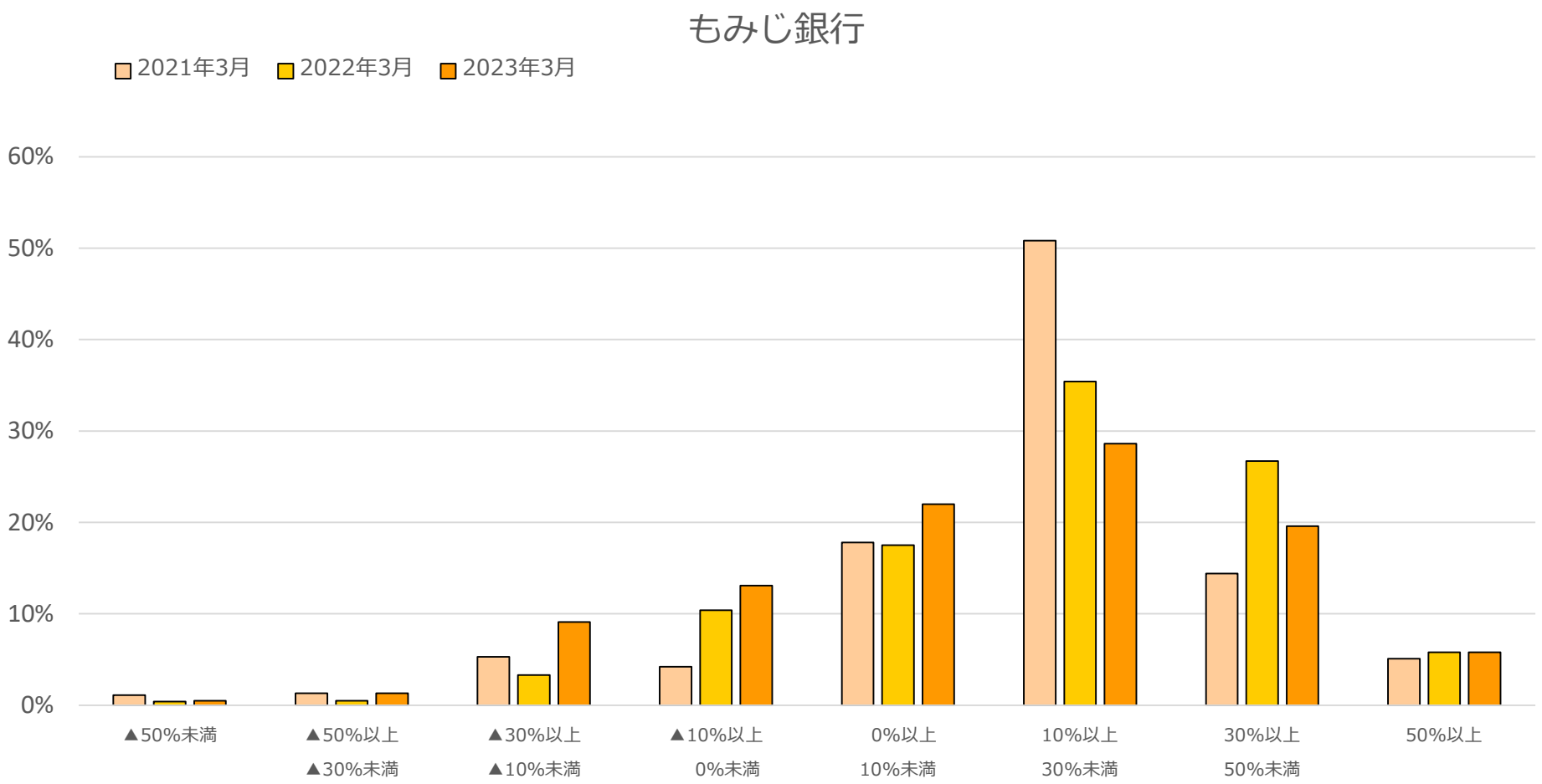
- 2023年３月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の70.1%となっております。
  ※2022年３月末比：▲14.6%



１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通ＫＰＩ）：もみじ銀行

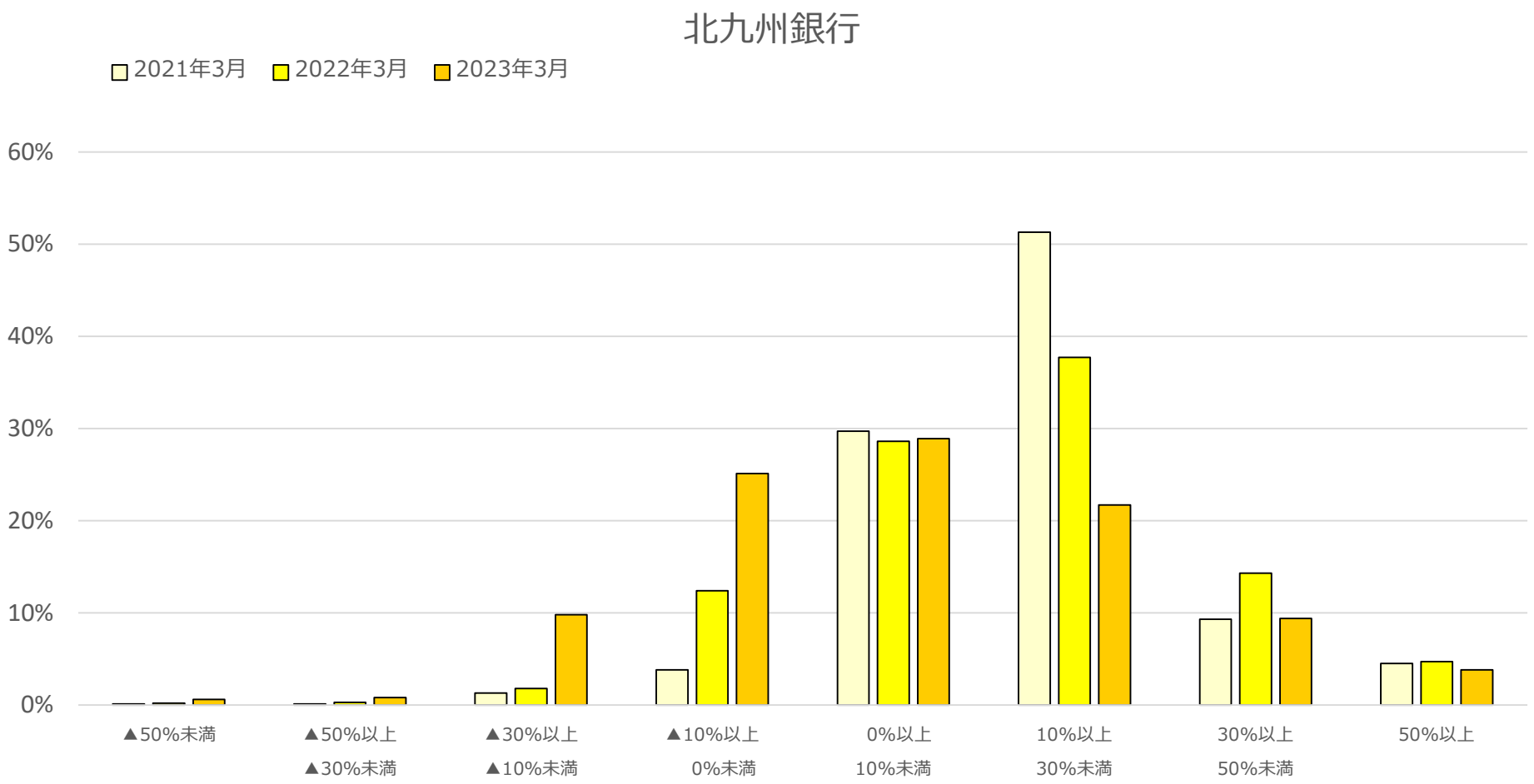
- 2023年３月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の76.0%となっております。
  ※2022年３月末比：▲9.3%



１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通ＫＰＩ）：北九州銀行

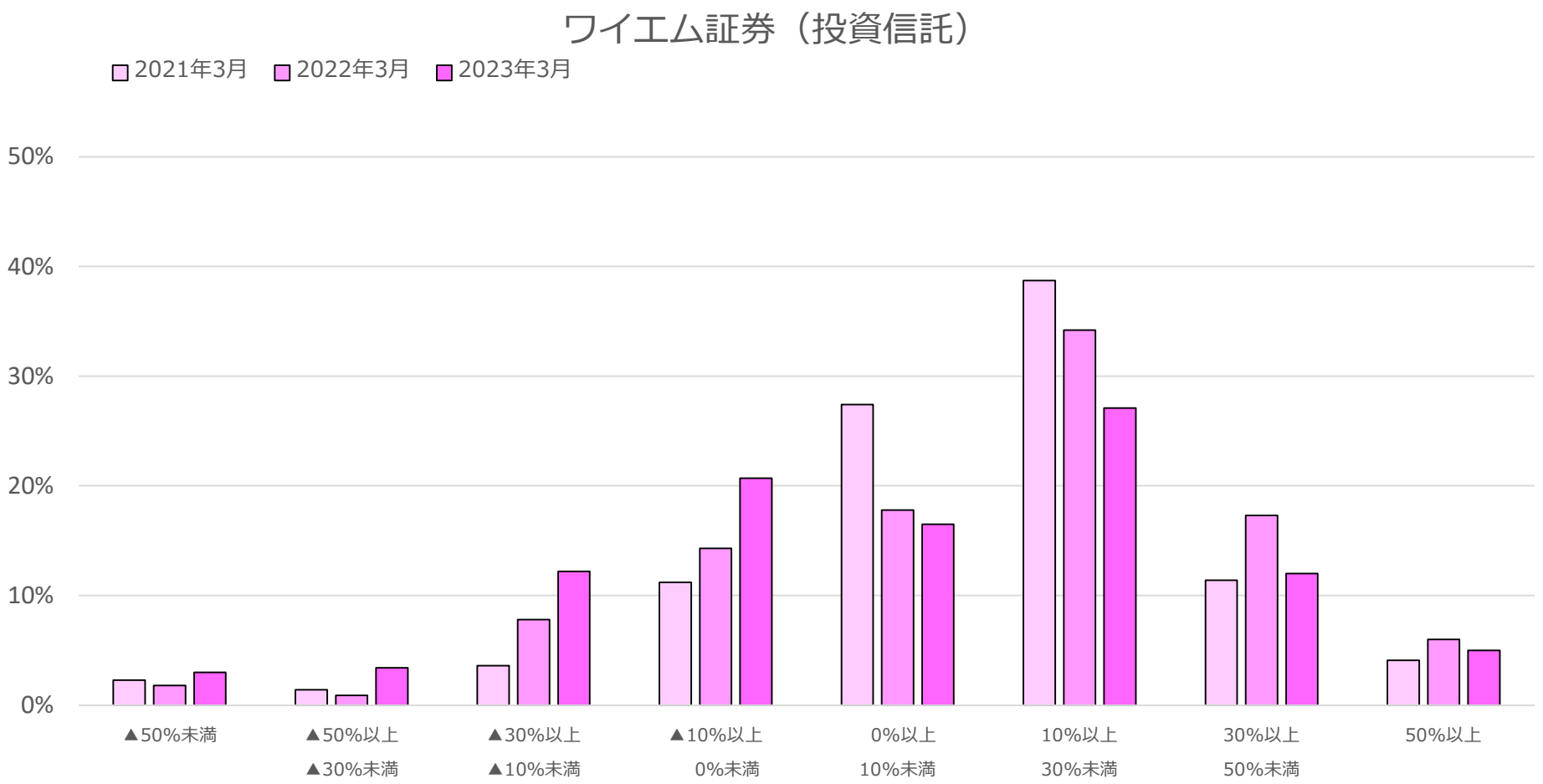
- 2023年３月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の63.8%となっております。
  ※2022年３月末比：▲21.6%



１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通ＫＰＩ）：ワイエム証券（投資信託）

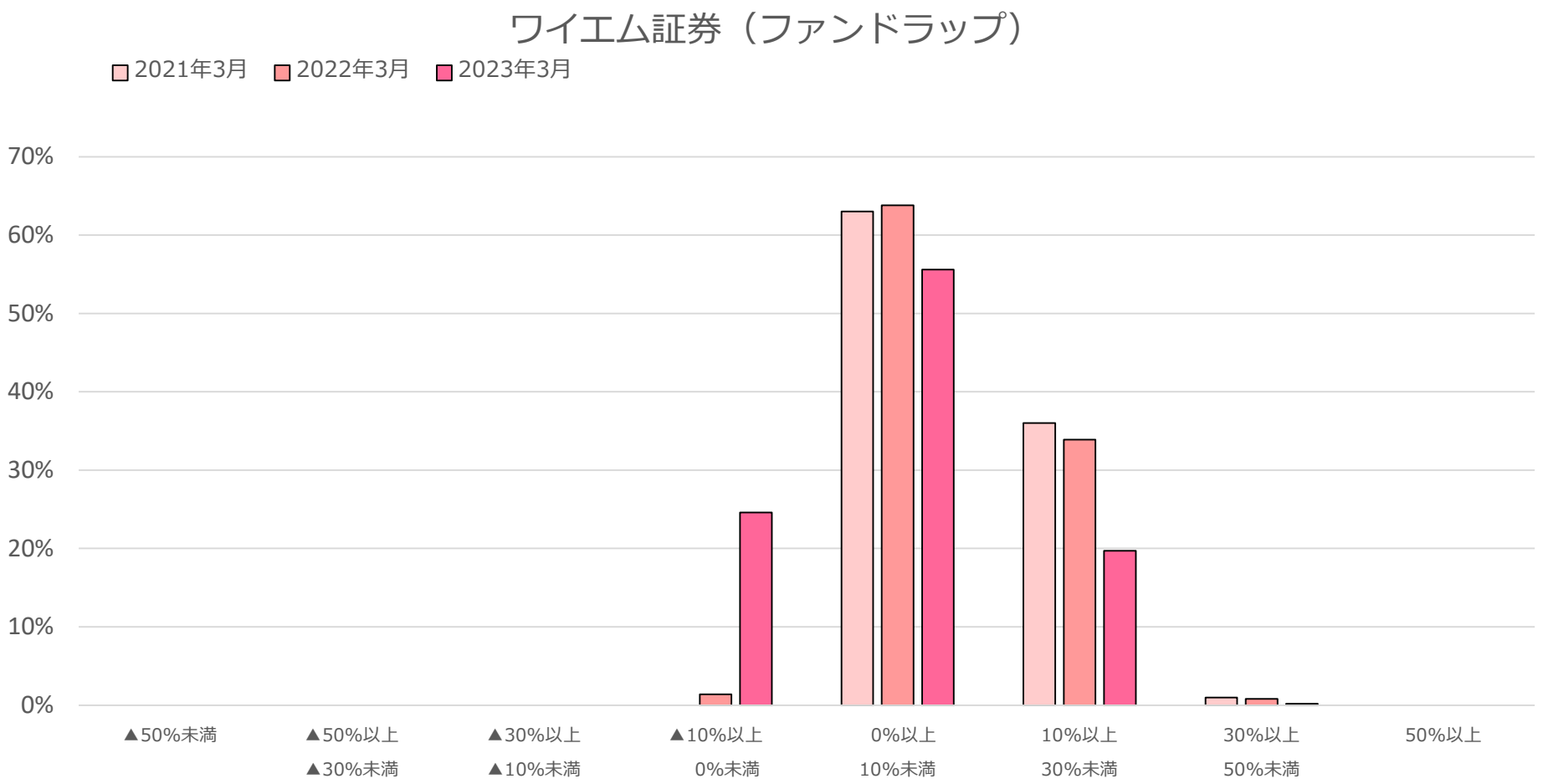
- 2023年３月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の60.6%となっております。
  ※2022年３月末比：▲14.7%



１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通ＫＰＩ）：ワイエム証券（ファンドラップ）

- 2023年３月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の75.5%となっております。
  ※2022年３月末比：▲23.0%



１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通ＫＰＩ）：山口銀行、2023年３月

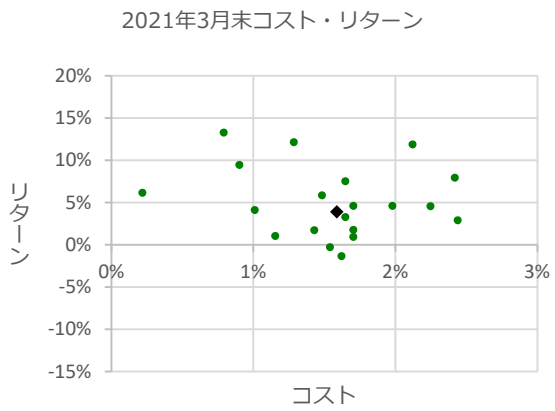
- 2023年３月末時点でのコスト加重平均は1.5%、リスク加重平均は10.9%、リターン加重平均は3.1%となっております。
  ※2022年３月末比：コスト加重平均▲0.1%、リスク加重平均＋1.7%、リターン加重平均▲0.8%

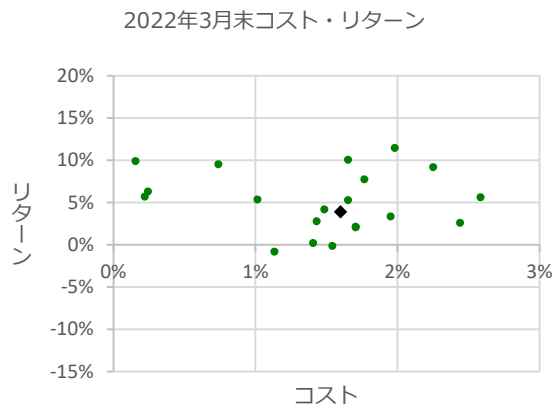
順位	銘柄	運用会社	種類	残高（百万円）	コスト	リスク	リターン
1	ＹＭアセット・バランスファンド（安定タイプ）	ワイエムＡＭ	バランス	6,012	1.4%	6.5%	▲1.9%
2	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	大和ＡＭ	海外債券	2,060	1.7%	9.8%	2.0%
3	グローバル･ソブリン･オープン（毎月決算型）	三菱ＵＦＪ国際投信	海外債券	1,988	1.7%	4.7%	1.6%
4	ＹＭアセット・バランスファンド（成長タイプ）	ワイエムＡＭ	バランス	1,951	2.0%	9.4%	1.1%
5	フィデリティ・ＵＳリート・ファンドＢ（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	不動産	1,521	2.0%	18.8%	10.3%
6	ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	大和ＡＭ	不動産	1,423	1.0%	14.9%	4.0%
7	ＹＭアセット・優良米国株ファンド	ワイエムＡＭ	海外株式	1,147	2.0%	20.8%	11.4%
8	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	日興ＡＭ	バランス	1,107	1.5%	9.1%	3.2%
9	ＹＭアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムＡＭ	国内株式	944	1.8%	16.2%	4.9%
10	ストックインデックスファンド２２５	大和ＡＭ	国内株式	775	0.7%	17.1%	7.1%
11	グローバル･ハイインカム･ストックファンド	野村ＡＭ	海外株式	668	1.7%	16.0%	10.3%
12	世界三資産バランス・ファンド（毎月分配型）	野村ＡＭ	バランス	661	1.7%	7.1%	4.9%
13	ピクテ･マルチアセット・アロケーション・ファンド	ピクテ・ジャパン	バランス	644	2.4%	5.0%	0.6%
14	ＹＭアセット・オーストラリア好配当資産ファンド	ワイエムＡＭ	その他	515	1.5%	25.5%	7.4%
15	ｉＦｒｅｅＳ＆Ｐ５００インデックス	大和ＡＭ	海外株式	499	0.2%	17.8%	15.5%
16	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ・ジャパン	国内株式	439	2.3%	15.4%	9.9%
17	トレンド・アロケーション・オープン	三菱ＵＦＪ国際投信	バランス	430	1.1%	7.8%	▲3.5%
18	堅実バランスファンドーハジメの一歩ー	大和ＡＭ	バランス	411	0.2%	2.1%	▲0.5%
19	ｉＦｒｅｅ日経２２５インデックス	大和ＡＭ	国内株式	371	0.2%	17.1%	7.5%
20	ｉＦｒｅｅ８資産バランス	大和ＡＭ	バランス	370	2.6%	10.6%	5.3%
	残高加重平均				1.5%	10.9%	3.1%

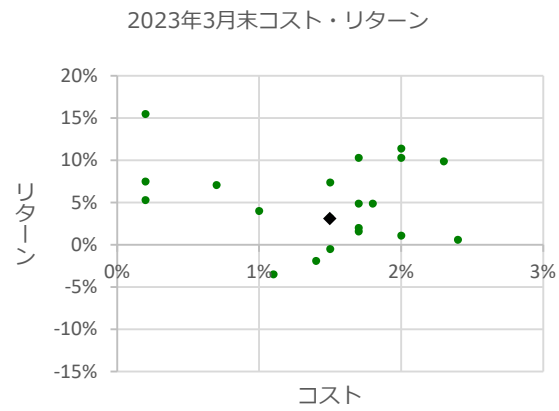
１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

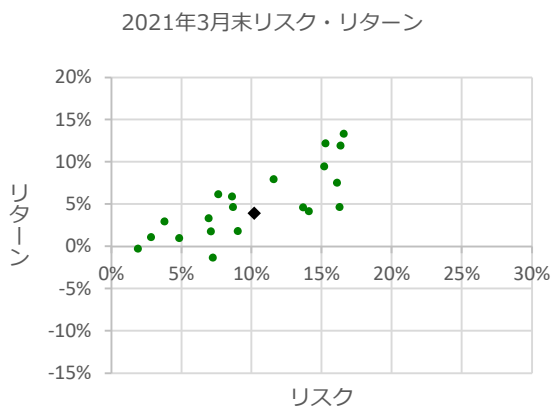
② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通ＫＰＩ）：山口銀行

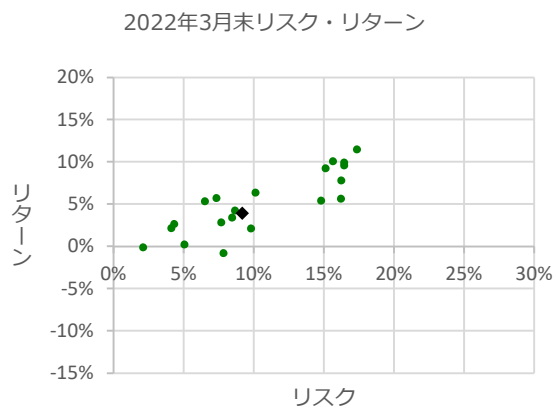
- 2021年３月末～2023年３月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
  ※表内の◈が加重平均を表しています

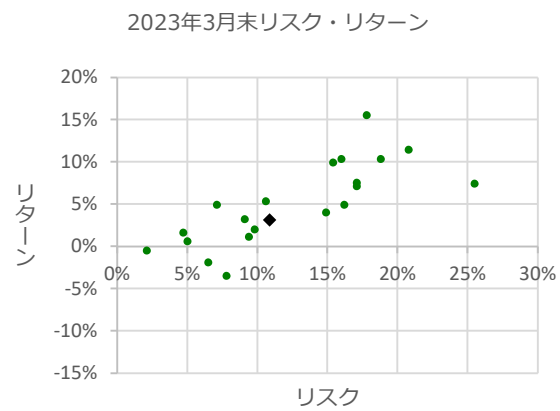












１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通ＫＰＩ）：もみじ銀行、2023年３月

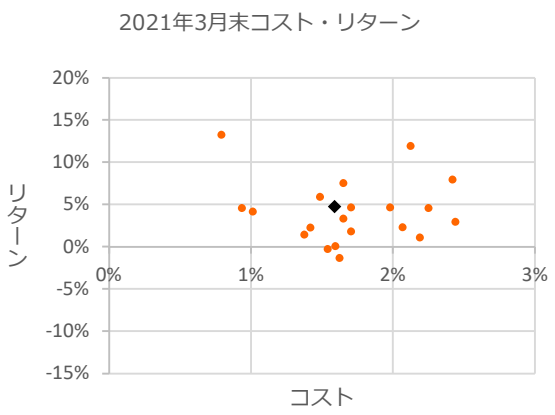
- 2023年３月末時点でのコスト加重平均は1.5%、リスク加重平均は12.7%、リターン加重平均は4.6%となっております。
  ※2022年３月末比：コスト加重平均±0.0%、リスク加重平均+1.4%、リターン加重平均▲0.8%

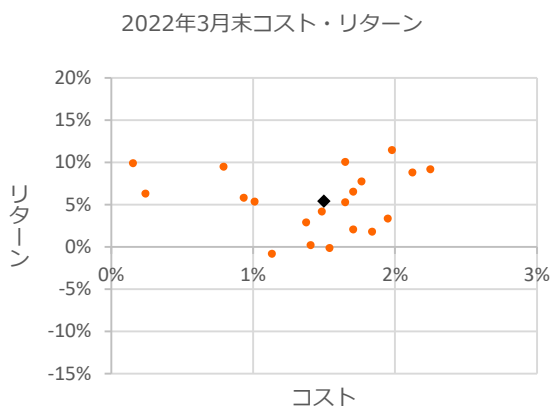
順位	銘柄	運用会社	種類	残高（百万円）	コスト	リスク	リターン
1	ＹＭアセット・バランスファンド（安定タイプ）	ワイエムＡＭ	バランス	3,080	1.4%	6.5%	▲1.9%
2	フィデリティ・ＵＳリート・ファンドＢ（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	不動産	2,268	2.0%	18.8%	10.3%
3	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	日興ＡＭ	バランス	1,313	1.5%	9.1%	3.2%
4	インデックスファンド２２５	日興ＡＭ	国内株式	1,213	0.8%	17.1%	7.1%
5	ＭＨＡＭＪ―ＲＥＩＴインデックスファンド（毎月決算型）	ＡＭＯｎｅ	不動産	1,130	0.9%	14.8%	4.4%
6	ＹＭアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムＡＭ	国内株式	942	1.8%	16.2%	4.9%
7	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	大和ＡＭ	海外債券	923	1.7%	9.8%	2.0%
8	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ・ジャパン	国内株式	887	2.3%	15.4%	9.9%
9	ＹＭアセット・バランスファンド（成長タイプ）	ワイエムＡＭ	バランス	878	2.0%	9.4%	1.1%
10	トレンド・アロケーション・オープン	三菱ＵＦＪ国際投信	バランス	819	1.1%	7.8%	▲3.5%
11	ＹＭアセット・優良米国株ファンド	ワイエムＡＭ	海外株式	812	2.0%	20.8%	11.4%
12	ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	大和ＡＭ	不動産	760	1.0%	14.9%	4.0%
13	世界三資産バランス・ファンド（毎月分配型）	野村ＡＭ	バランス	696	1.7%	7.1%	4.9%
14	フランクリン・テンプルトン米国政府証券ファンド	フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ	海外債券	514	1.8%	5.5%	4.0%
15	ＭＨＡＭ６資産バランスファンド	ＡＭＯｎｅ	バランス	463	1.7%	9.4%	5.1%
16	グローバル･ハイインカム･ストックファンド	野村ＡＭ	海外株式	374	1.7%	16.0%	10.3%
17	ｉＦｒｅｅＳ＆Ｐ５００インデックス	大和ＡＭ	海外株式	369	0.2%	17.8%	15.5%
18	ｉＦｒｅｅ日経２２５インデックス	大和ＡＭ	国内株式	327	0.2%	17.1%	7.5%
19	ＹＭアセット・オーストラリア好配当資産ファンド	ワイエムＡＭ	その他	292	1.5%	25.5%	7.4%
20	ｉＦｒｅｅ８資産バランス	大和ＡＭ	バランス	256	0.2%	10.6%	5.3%
	残高加重平均				1.5%	12.7%	4.6%

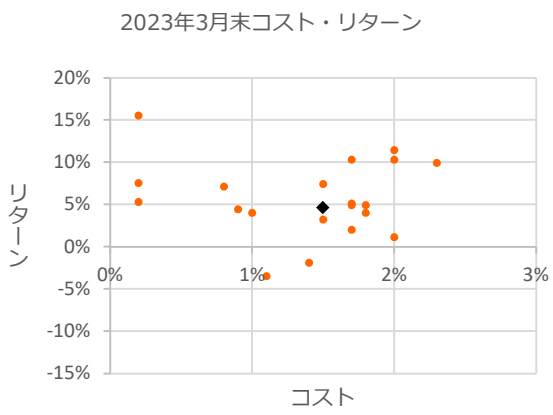
１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

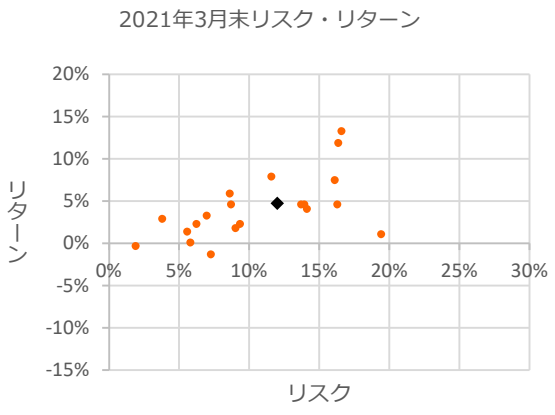
② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通ＫＰＩ）：もみじ銀行

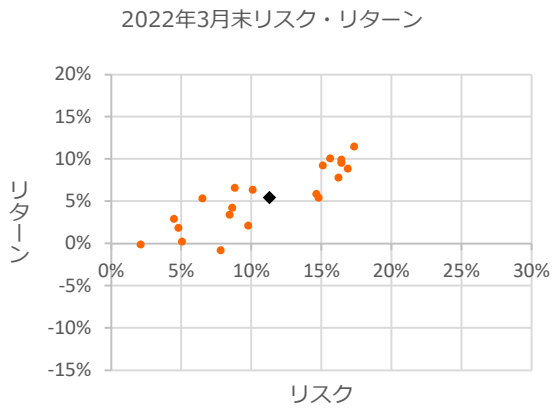
- 2021年３月末～2023年３月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
  ※表内の◈が加重平均を表しています

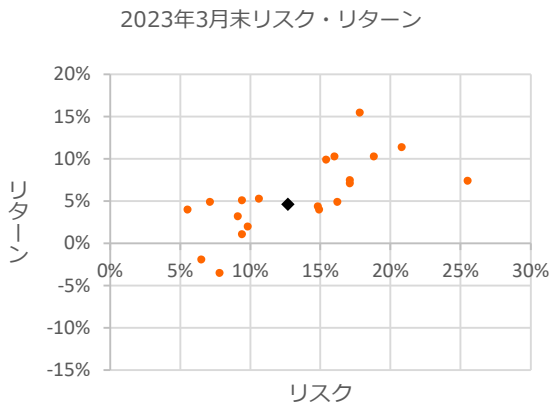












１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通ＫＰＩ）：北九州銀行、2023年３月

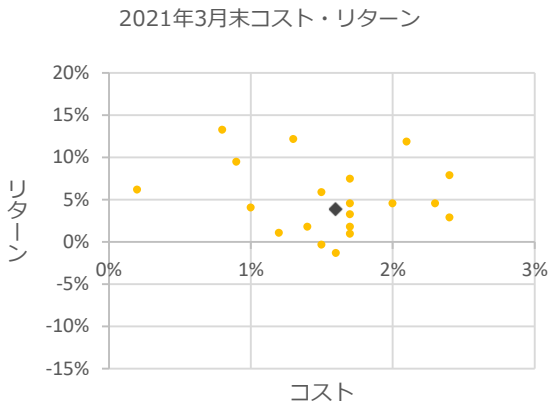
- 2023年３月末時点でのコスト加重平均は1.5%、リスク加重平均は13.2%、リターン加重平均は5.0%となっております。
  ※2022年３月末比：コスト加重平均±0.0%、リスク加重平均+1.8%、リターン加重平均▲0.4%

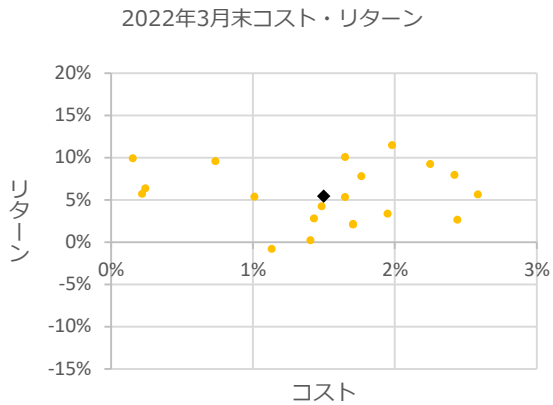
順位	銘柄	運用会社	種類	残高（百万円）	コスト	リスク	リターン
1	ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	大和ＡＭ	不動産	488	1.0%	14.9%	4.0%
2	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	大和ＡＭ	海外債券	363	1.7%	9.8%	2.0%
3	ＹＭアセット・優良米国株ファンド	ワイエムＡＭ	海外株式	339	2.0%	20.8%	11.4%
4	ＹＭアセット・バランスファンド（成長タイプ）	ワイエムＡＭ	バランス	311	2.0%	9.4%	1.1%
5	ストックインデックスファンド２２５	大和ＡＭ	国内株式	278	0.7%	17.1%	7.1%
6	ＹＭアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムＡＭ	国内株式	268	1.8%	16.2%	4.9%
7	グローバル･ソブリン･オープン（毎月決算型）	三菱ＵＦＪ国際投信	海外債券	262	1.7%	4.7%	1.6%
8	ＹＭアセット・バランスファンド（安定タイプ）	ワイエムＡＭ	バランス	216	1.4%	6.5%	▲1.9%
9	フィデリティ・ＵＳリート・ファンドＢ（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	不動産	192	2.0%	18.8%	10.3%
10	グローバル･ハイインカム･ストックファンド	野村ＡＭ	海外株式	151	1.7%	16.0%	10.3%
11	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ・ジャパン	国内株式	135	2.3%	15.4%	9.9%
12	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	日興ＡＭ	バランス	130	1.5%	9.1%	3.2%
13	世界三資産バランス・ファンド（毎月分配型）	野村ＡＭ	バランス	105	1.7%	7.1%	4.9%
14	ｉＦｒｅｅ８資産バランス	大和ＡＭ	バランス	69	0.2%	10.6%	5.3%
15	ｉＦｒｅｅＳ＆Ｐ５００インデックス	大和ＡＭ	海外株式	69	0.2%	17.8%	15.5%
16	ｉＦｒｅｅ日経２２５インデックス	大和ＡＭ	国内株式	65	0.2%	17.1%	7.5%
17	ＤＩＡＭ高格付インカム･オープン（毎月決算コース）	ＡＭＯｎｅ	海外債券	58	1.4%	7.8%	2.3%
18	トレンド・アロケーション・オープン	三菱ＵＦＪ国際投信	バランス	47	1.1%	7.8%	▲3.5%
19	ＹＭアセット・オーストラリア好配当資産ファンド	ワイエムＡＭ	その他	43	1.5%	25.5%	7.4%
20	ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	大和ＡＭ	不動産	42	2.1%	10.5%	1.8%
	残高加重平均				1.5%	13.2%	5.0%

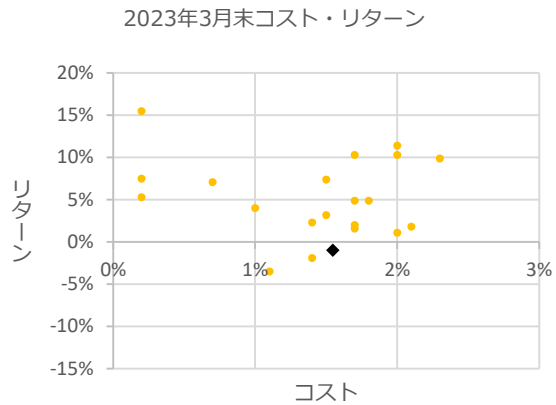
１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

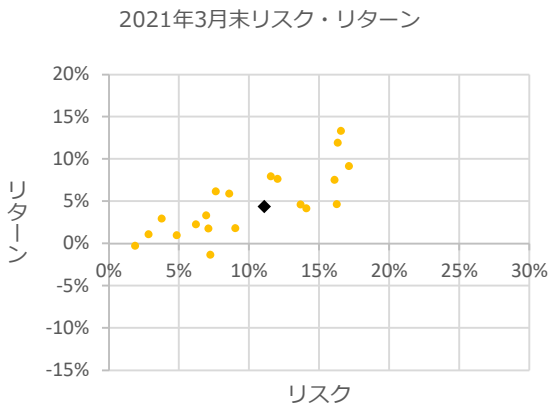
② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通ＫＰＩ）：北九州銀行

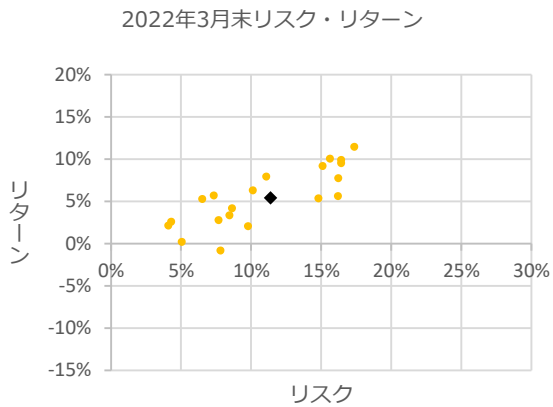
- 2021年３月末～2023年３月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
  ※表内の◈が加重平均を表しています

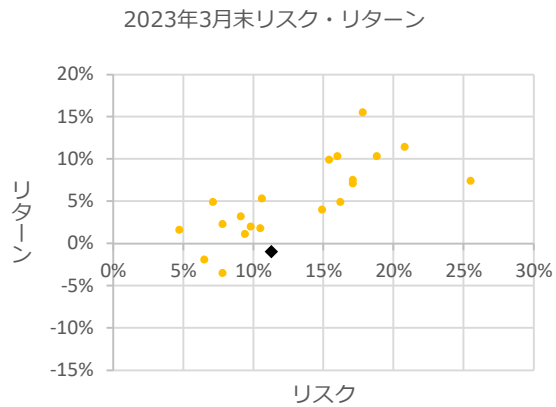












１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通ＫＰＩ）：ワイエム証券、2023年３月

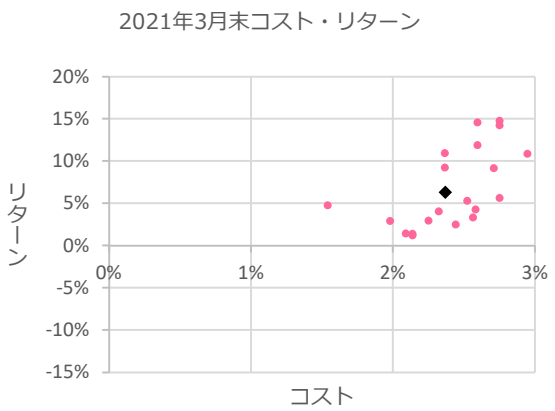
- 2023年３月末時点でのコスト加重平均は2.3%、リスク加重平均は16.0%、リターン加重平均は6.9%となっております。
  ※2022年３月末比：コスト加重平均＋%、リスク加重平均＋2.2%、リターン加重平均▲0.3%

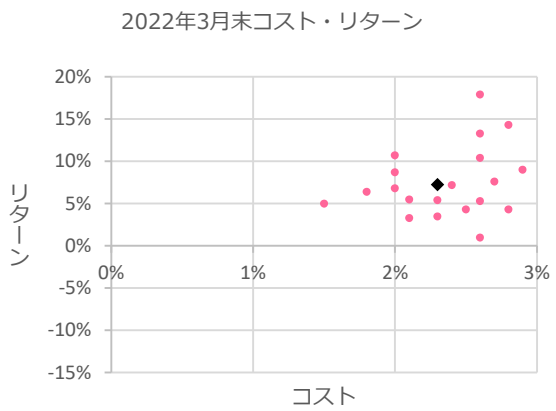
順位	銘柄	運用会社	種類	残高（百万円）	コスト	リスク	リターン
1	ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	ピクテ投信投資顧問	株式	10,895	2.8%	14.4%	6.3%
2	ＹＭアセット・優良米国株ファンド	ワイエムＡＭ	株式	5,518	2.0%	17.4%	9.1%
3	ラサール・グローバルＲＥＩＴファンド（毎月分配型）	日興ＡＭ	不動産	4,285	2.1%	14.2%	6.1%
4	Ｊ－ＲＥＩＴ・リサーチ・オープン（毎月決算型）	三井住友トラストＡＭ	不動産	3,959	1.5%	11.7%	4.9%
5	ＹＭアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムＡＭ	株式	3,758	1.8%	14.2%	4.5%
6	インバウンド関連日本株ファンド	三井住友トラストＡＭ	株式	3,494	2.4%	15.7%	3.0%
7	次世代通信関連　世界株式戦略ファンド	三井住友トラストＡＭ	株式	2,286	2.5%	21.5%	8.7%
8	ｎｅｔＷＩＮ　ＧＳテクノロジー株式ファンド　Ｂ（ヘッジなし）	ＧＳＡＭ	株式	2,280	2.8%	18.2%	11.3%
9	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ投信投資顧問	株式	2,181	2.3%	10.8%	6.5%
10	イーストスプリング・インド株式ファンド（３ヵ月決算型）	イーストスプリングインベストメンツ	株式	1,869	2.6%	22.7%	9.3%
11	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年２回決算型）	日興ＡＭ	株式	1,639	2.6%	17.1%	9.7%
12	フィデリティ・ＵＳリート・ファンドＢ（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	不動産	1,601	2.0%	14.2%	7.7%
13	通貨選択型Ｊリート・ファンド（毎月分配型）　米ドルコース	ＡＭＯｎｅ	不動産	1,408	2.1%	11.8%	6.0%
14	グローバルＡＩファンド	三井住友ＤＳＡＭ	株式	1,368	2.6%	26.8%	13.5%
15	Ｔ＆Ｄインド中小型株ファンド	Ｔ＆Ｄ	株式	1,355	2.7%	23.7%	6.9%
16	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	日興ＡＭ	株式	1,320	2.6%	21.4%	11.6%
17	ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	大和ＡＭ	不動産	1,261	1.0%	9.9%	3.8%
18	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリングインベストメンツ	株式	1,253	2.6%	23.2%	9.4%
19	日本株アルファ・カルテット（毎月分配型）	三井住友ＤＳＡＭ	株式	1,238	2.6%	12.4%	1.8%
20	アメリカン・ニュー・ステージ・オープン	三菱ＵＦＪ国際投信	株式	1,234	2.9%	18.3%	8.0%
	残高加重平均				2.3%	16.0%	6.9%

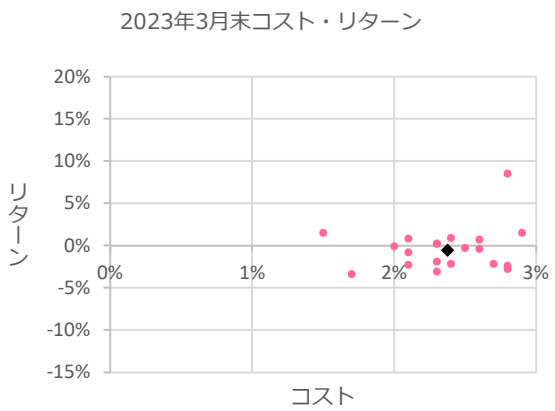
１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

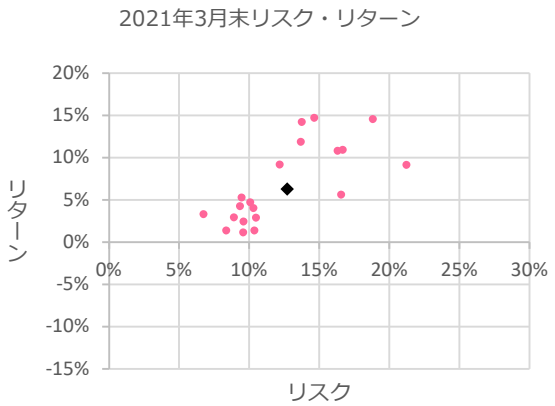
② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通ＫＰＩ）：ワイエム証券

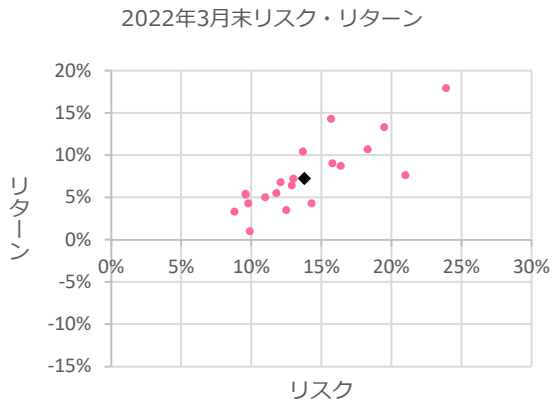
- 2021年３月末～2023年３月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
  ※表内の◈が加重平均を表しています

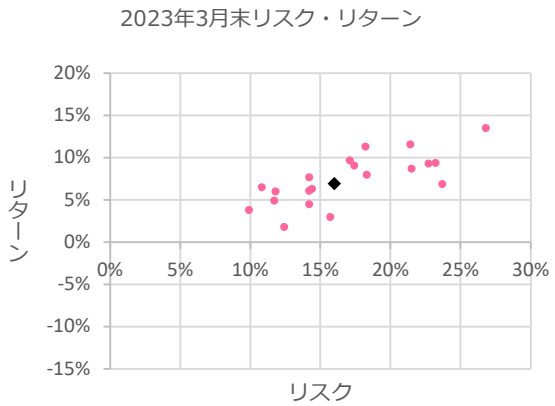








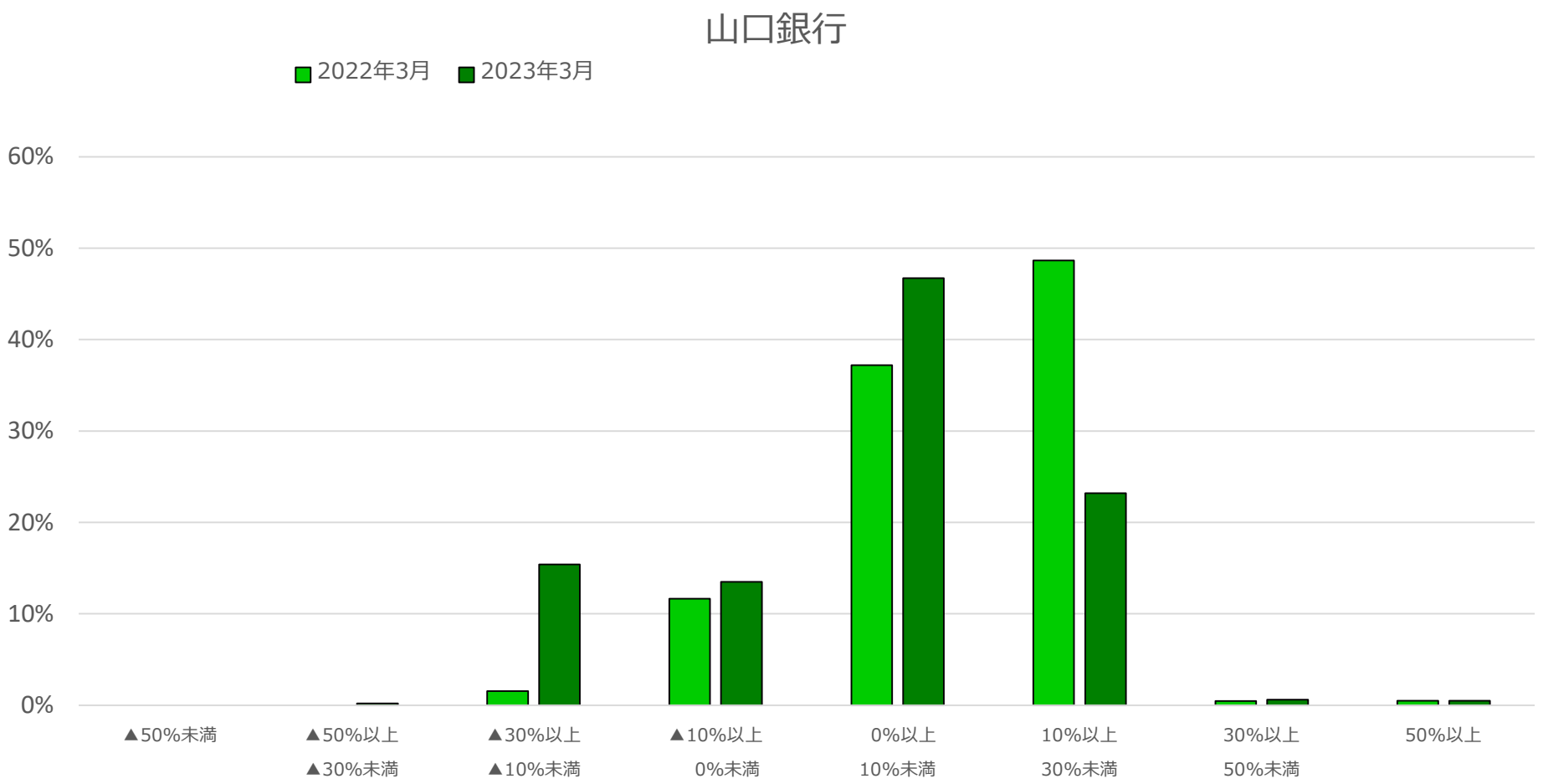




１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率（共通ＫＰＩ）：山口銀行

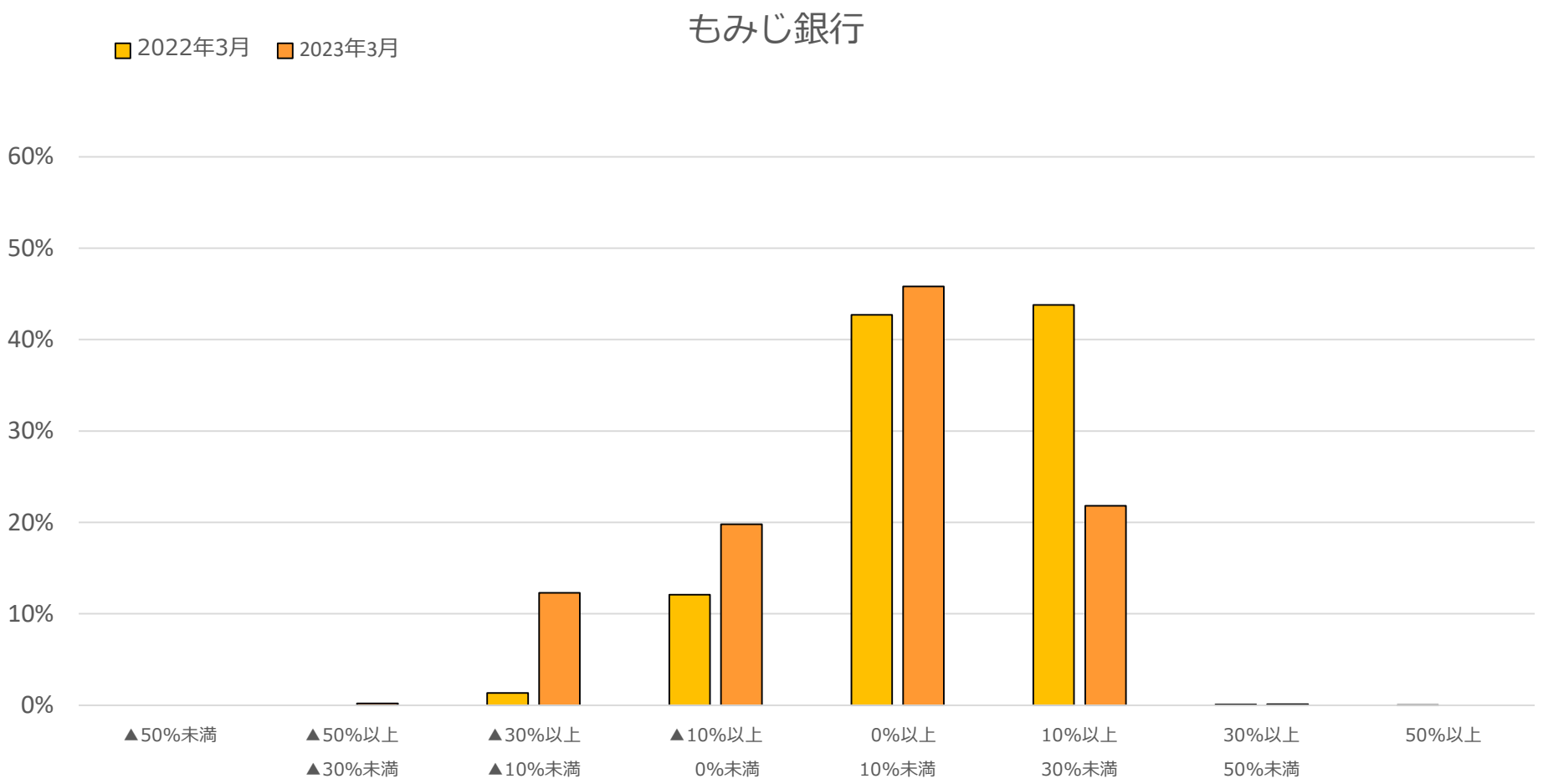
- 2023年３月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の70.9%となっております。



１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率（共通ＫＰＩ）：もみじ銀行

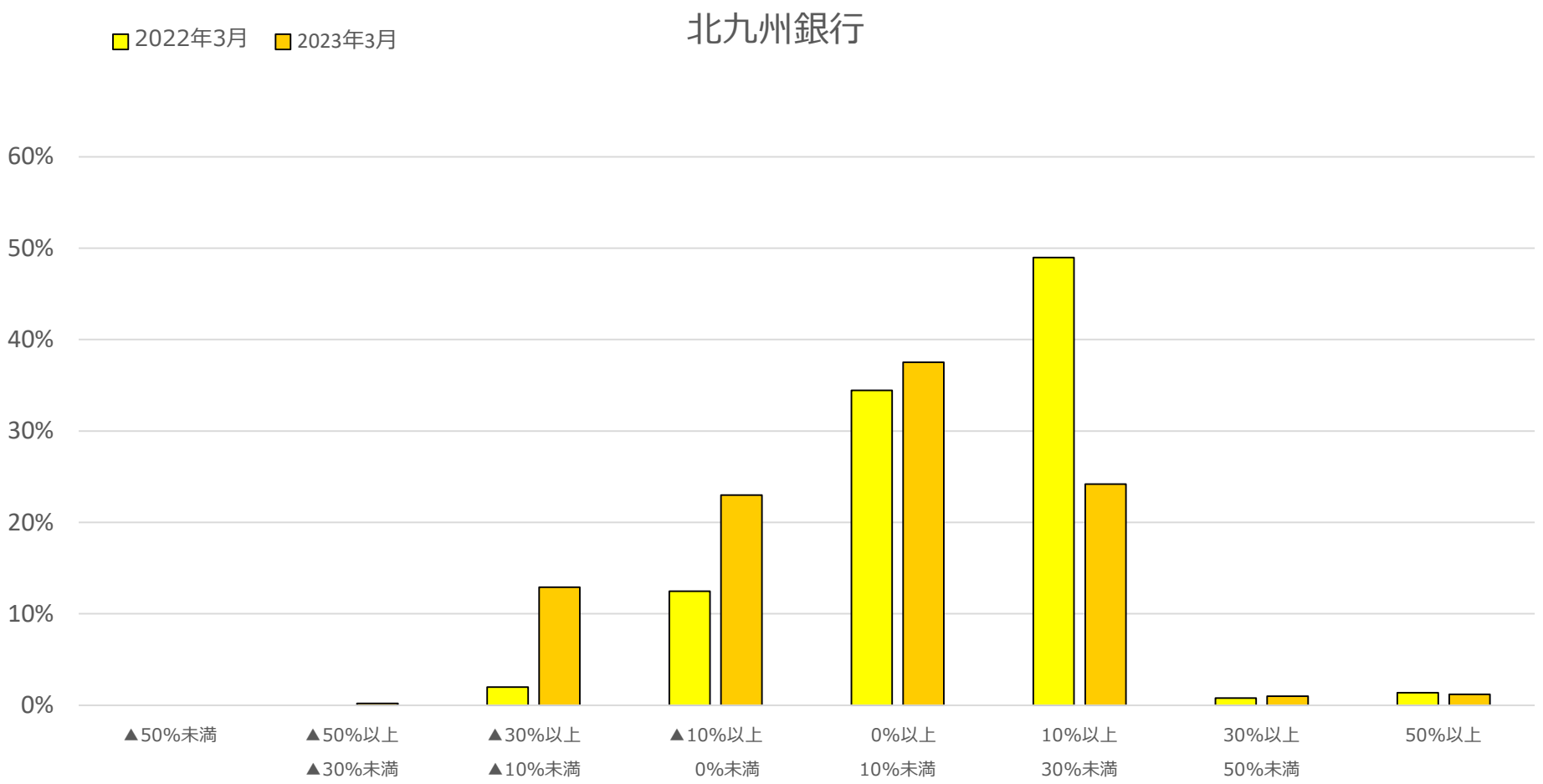
- 2023年３月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の67.7%となっております。



１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率（共通ＫＰＩ）：北九州銀行

- 2023年３月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の63.8%となっております。



１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン（共通ＫＰＩ）：山口銀行

- 2023年３月末時点でのコスト加重平均は0.8%、リターン加重平均は1.1%となっております。

順位	保険名称	残高（百万円）	コスト	リターン
1	サニーガーデンＥＸ	26,541	1.0%	1.0%
2	サニーガーデン	13,518	0.6%	1.4%
3	しあわせ、ずっと	3,262	0.9%	0.7%
4	プレミアレシーブ（外貨建）	2,958	0.9%	1.1%
5	ロングドリームＧＯＬＤ	2,454	0.8%	1.2%
6	プレミアジャンプ	850	0.9%	0.2%
7	外貨エブプラス豪	592	0.8%	1.1%
8	シリウスデュアル	488	0.1%	2.9%
9	ロングドリームプラス	365	0.4%	0.2%
10	ロングドリーム	335	0.3%	0.2%
11	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	321	1.0%	0.5%
12	プレミアカレンシー・プラス	280	0.6%	1.9%
13	ビーウィズユー（豪ドル建）	256	0.6%	1.0%
14	デュアルドリーム	192	0.9%	▲1.3%
15	シリウスプラス	170	0.1%	3.0%
16	プレミアカレンシー・プラス２	140	0.9%	1.3%
17	ビーウィズユー（米ドル建）	118	0.6%	3.2%
18	シリウスハーモニー	72	0.2%	1.1%
19	外貨エブリバディプラス（米ドル建）	68	0.9%	4.4%
20	プレミアジャンプ３・年金（外貨建）	64	1.3%	▲0.6%
	残高加重平均		0.8%	1.1%

１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン（共通ＫＰＩ）：もみじ銀行

- 2023年３月末時点でのコスト加重平均は0.9%、リターン加重平均は1.0%となっております。

順位	保険名称	残高（百万円）	コスト	リターン
1	サニーガーデンＥＸ	13,602	1.0%	1.1%
2	サニーガーデン	3,675	0.7%	1.0%
3	ロングドリームＧＯＬＤ	1,788	0.8%	1.3%
4	プレミアレシーブ（外貨建）	1,615	0.9%	1.2%
5	プレミアジャンプ	648	0.9%	0.2%
6	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	213	1.0%	0.6%
7	ロングドリームプラス	212	0.6%	1.6%
8	プレミアカレンシー・プラス２	195	0.9%	1.2%
9	プレミアカレンシー・プラス	186	0.6%	0.4%
10	デュアルドリーム	138	0.9%	▲1.6%
11	外貨エブプラス豪	123	0.8%	1.0%
12	プレミアジャンプ３・年金（外貨建）	102	1.3%	0.4%
13	プレミアジャンプ２・年金（外貨建）	48	1.1%	1.7%
14	外貨エブプラス米	19	0.8%	3.5%
15	プレミアカレンシー（米ドル・ユーロ・豪ドル）	8	0.3%	3.3%
16				
17				
18				
19				
20				
	残高加重平均		0.9%	1.0%

１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン（共通ＫＰＩ）：北九州銀行

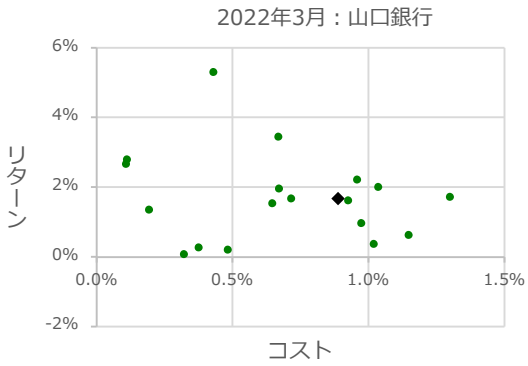
- 2023年3月末時点でのコスト加重平均は0.8%、リターン加重平均は1.1%となっております。

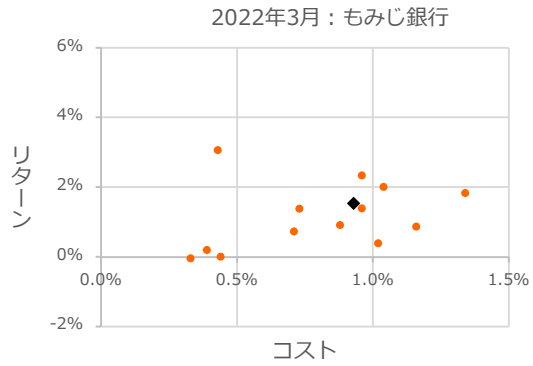
順位	保険名称	残高（百万円）	コスト	リターン
1	サニーガーデンＥＸ	1,543	0.9%	1.2%
2	ロングドリームＧＯＬＤ	305	0.8%	1.4%
3	プレミアジャンプ	75	0.9%	0.2%
4	デュアルドリーム	71	0.9%	▲0.0%
5	シリウスデュアル	63	0.1%	2.8%
6	外貨建エブリバディプラス（豪ドル建）	62	0.8%	1.3%
7	プレミアレシーブ（外貨建）	40	1.0%	2.0%
8	外貨建エブリバディプラス（米ドル建）	15	0.8%	2.6%
9	ビーウィズユー（米ドル建）	14	0.6%	3.6%
10	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	13	1.0%	1.4%
11	プレミアジャンプ３・年金（外貨建）	8	1.3%	▲0.7%
12	プレミアカレンシー・プラス２	6	1.0%	1.1%
13	シリウスプラス	6	0.1%	2.5%
14	シリウスハーモニー	5	0.2%	2.2%
15	プレミアカレンシー・プラス	2	0.7%	0.9%
16	プレミアジャンプ２・年金（外貨建）	1	1.2%	0.9%
17				
18				
19				
20				
	残高加重平均		0.8%	1.1%

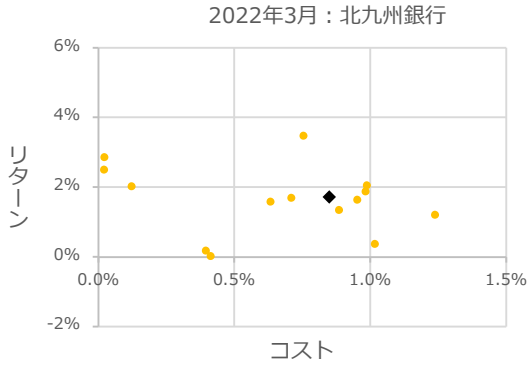
１．投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩについて

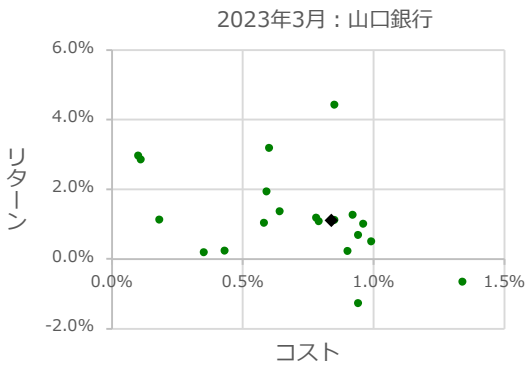
④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン（共通ＫＰＩ）

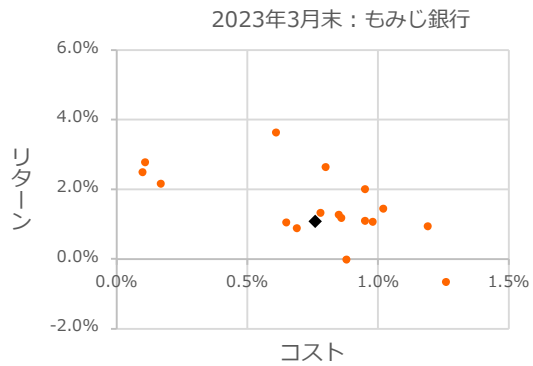
- 2022年・2023年３月末時点のコスト・リターンの散布図は下記のとおりです。
  ※表内の◈が加重平均を表しています

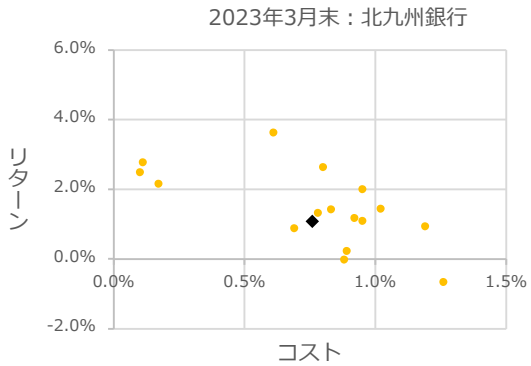












※外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。

※解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

２．投資信託に関する取組状況

① 商品ラインアップ

- お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えするため、金融環境の変化やお客さまのニーズに合わせて投資信託ラインアップを随時見直し、最善の提案ができるよう努めてまいります。
- 2022年度にラインアップの抜本的見直しを行い、運用効率や外部機関の評価等が高い良質なファンドで構成された「ＹＭＦＧセレクション」を新設しております。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（2023年３月末時点）

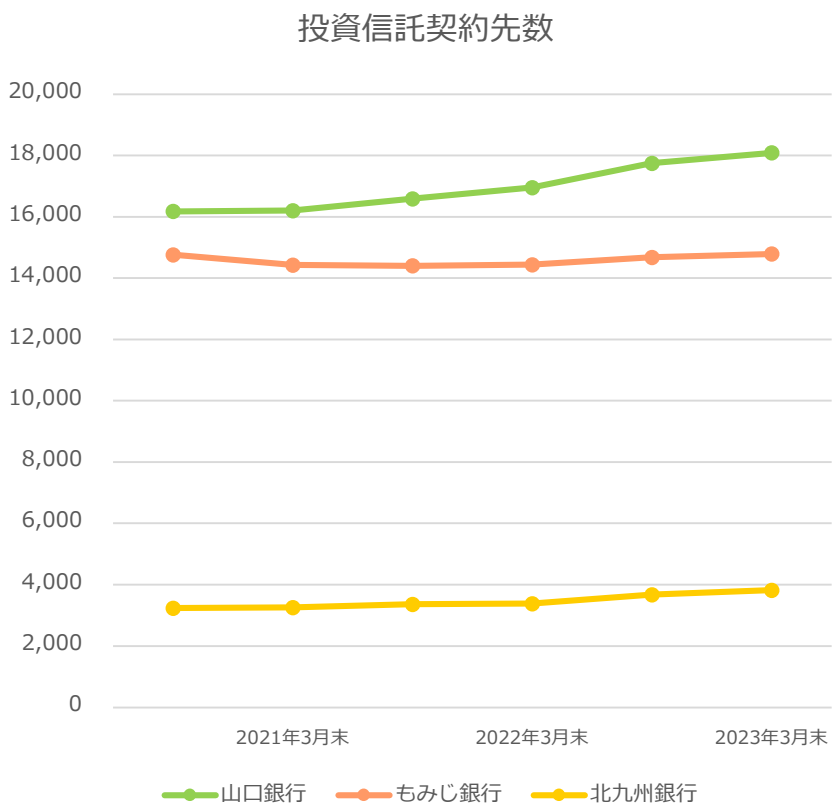
	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		つみたてNISA専用（３行共通）		ワイエム証券		つみたてNISA専用（ワイエム証券）	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
国内株式	10	11.2%	9	10.2%	10	11.2%	3	27.3%	43	13.6%	3	27.3%
海外株式	27	30.3%	27	30.7%	27	30.3%	4	36.4%	97	30.7%	4	36.4%
国内債券	3	3.4%	3	3.4%	3	3.4%	0	0.0%	5	1.6%	0	0.0%
海外債券	12	13.5%	12	13.6%	12	13.5%	0	0.0%	76	24.1%	0	0.0%
REIT	12	13.5%	12	13.6%	12	13.5%	0	0.0%	23	7.3%	0	0.0%
バランス	22	24.7%	22	25.0%	22	24.7%	4	36.4%	66	20.9%	4	36.4%
その他	3	3.4%	3	3.4%	3	3.4%	0	0.0%	6	1.9%	0	0.0%
合計	89	100.0%	88	100.0%	89	100.0%	11	100.0%	316	100.0%	11	100.0%

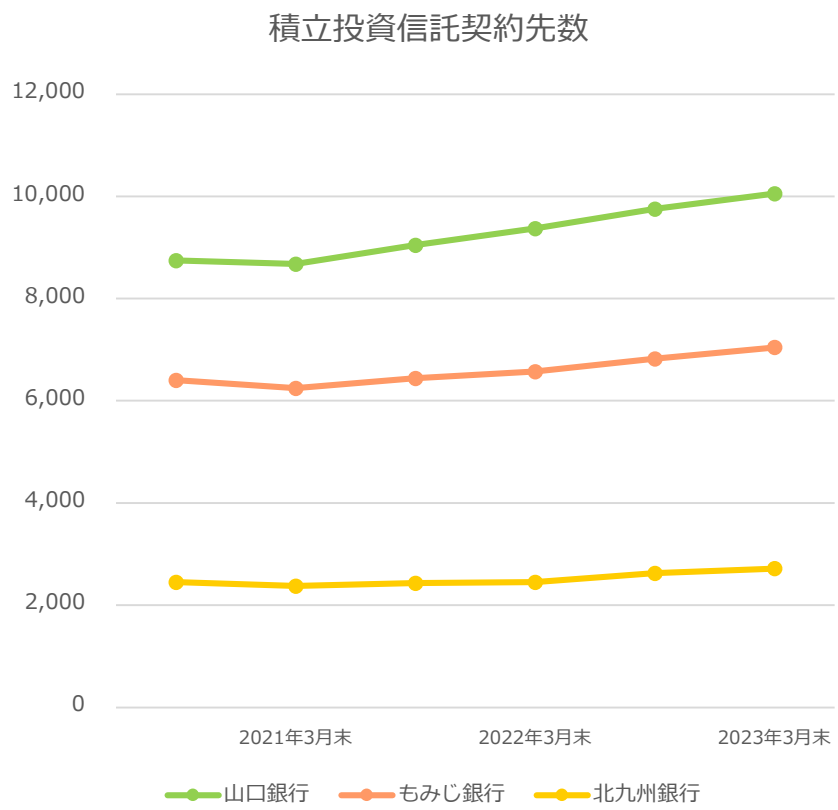
※販売停止商品を除く

２．投資信託に関する取組状況

② 投資信託・積立投信の契約先数

- 契約先数は銀行全体では増加傾向にあります。今後もＦＰコンサルティングに基づくポートフォリオ提案を行ってまいります。

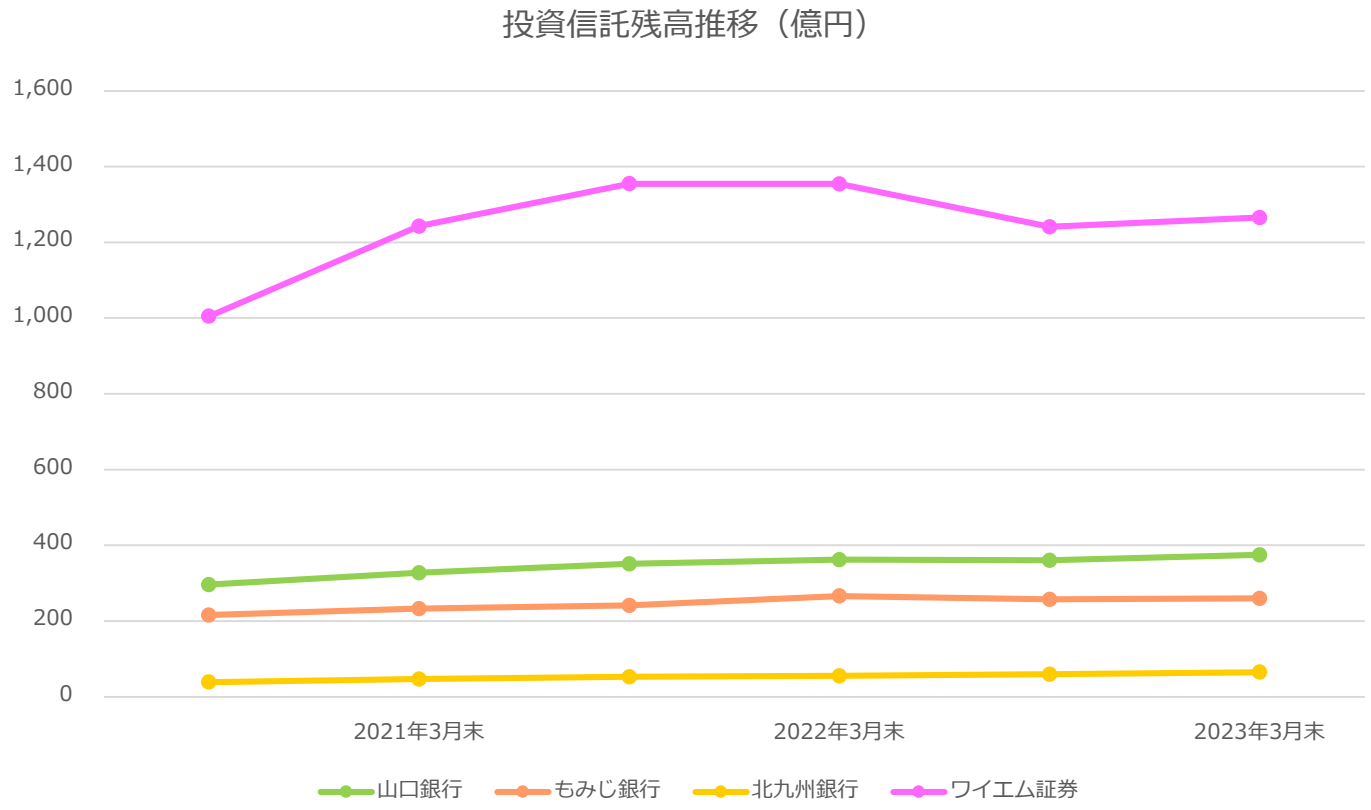




２．投資信託に関する取組状況

③ 投資信託の残高

- ＦＰコンサルティングおよびポートフォリオ提案により、投資信託の残高を積上げてまいります。



2．投資信託に関する取組状況

④ グループ３銀行におけるカテゴリ別投資信託残高比率

- グループ３銀行におけるカテゴリ別の投資信託残高比率は、長期分散投資に適したバランス型ファンドの比率が高くなっております。
- 特定の種類のファンドに偏ることなく、お客さまのライフプランを踏まえた上で、適切なポートフォリオを形成できるよう提案してまいります。

山口銀行

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
国内債券	0.06%	0.05%	0.05%
海外債券	17.97%	13.99%	11.94%
国内株式	9.23%	8.37%	8.93%
海外株式	15.21%	23.73%	23.22%
不動産	11.48%	10.81%	8.25%
バランス	44.04%	41.00%	45.71%
その他	2.00%	2.05%	1.90%

もみじ銀行

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
国内債券	0.25%	0.21%	0.21%
海外債券	11.06%	8.52%	7.64%
国内株式	13.36%	10.34%	11.11%
海外株式	15.98%	21.21%	21.16%
不動産	22.02%	20.29%	16.97%
バランス	35.34%	37.36%	40.89%
その他	1.99%	2.07%	2.02%

北九州銀行

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
国内債券	0.30%	0.25%	0.22%
海外債券	19.24%	15.28%	10.96%
国内株式	13.29%	12.41%	11.98%
海外株式	24.97%	35.73%	30.96%
不動産	16.04%	12.37%	11.48%
バランス	24.18%	22.19%	31.92%
その他	1.98%	1.77%	2.48%

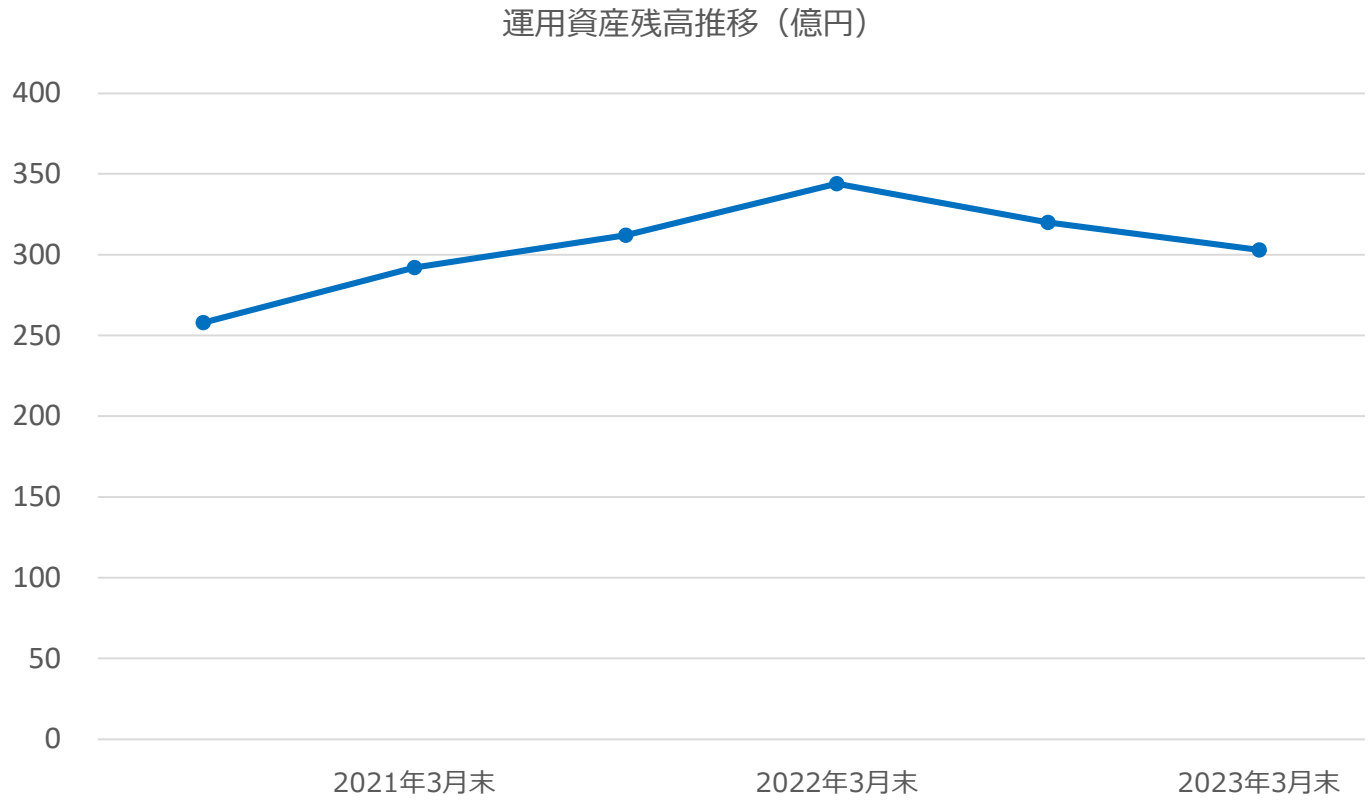
3行全体

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
国内債券	0.15%	0.13%	0.13%
海外債券	15.39%	11.96%	10.25%
国内株式	11.15%	9.46%	10.02%
海外株式	16.26%	23.72%	23.18%
不動産	15.92%	14.63%	11.79%
バランス	39.14%	38.06%	42.63%
その他	1.99%	2.04%	2.00%

2．投資信託に関する取組状況

⑤ ワイエムアセットマネジメント運用資産残高推移

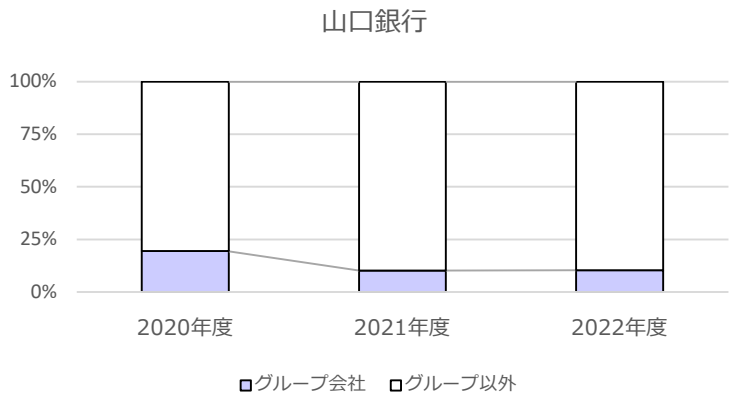
- 2022年度は相場環境の影響もあり2021年度と比較して減少しておりますが、2020年度と比較すると増加傾向にあります。

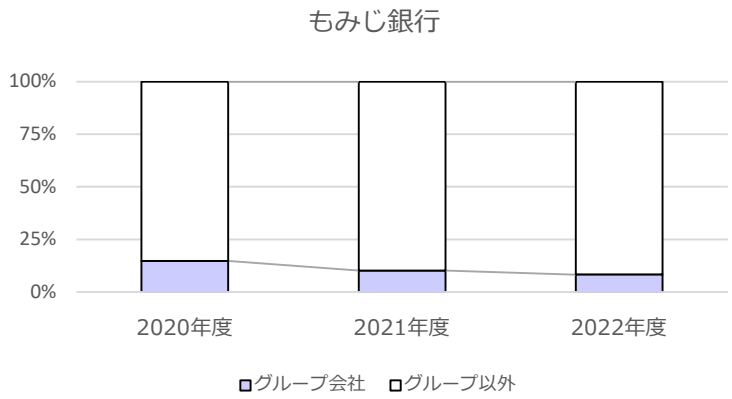


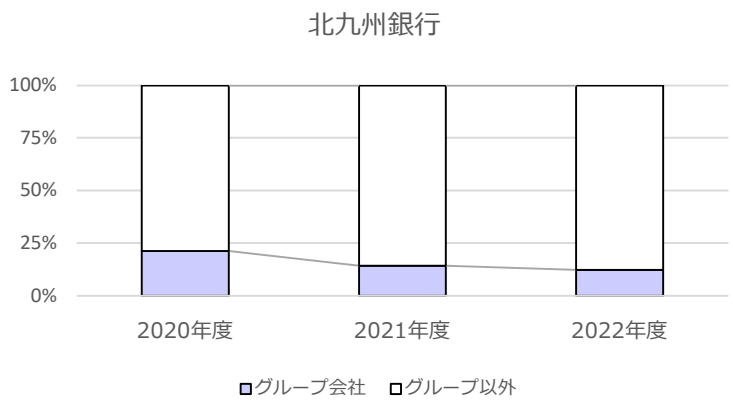
2．投資信託に関する取組状況

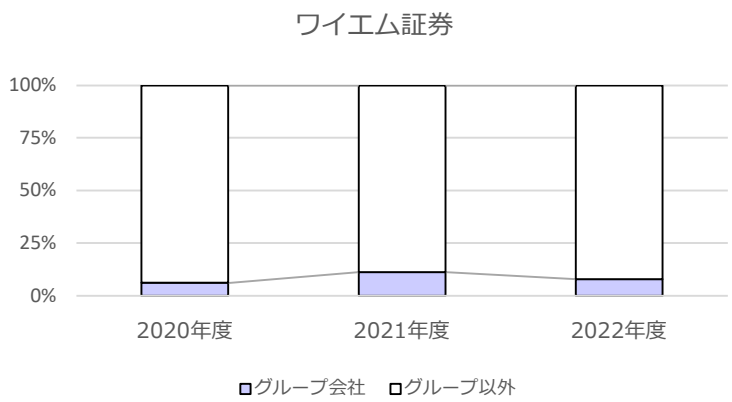
⑥ グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託の販売比率

- グループ会社の商品に偏ることなく、お客さまのニーズに応じた商品提案を行ってまいります。





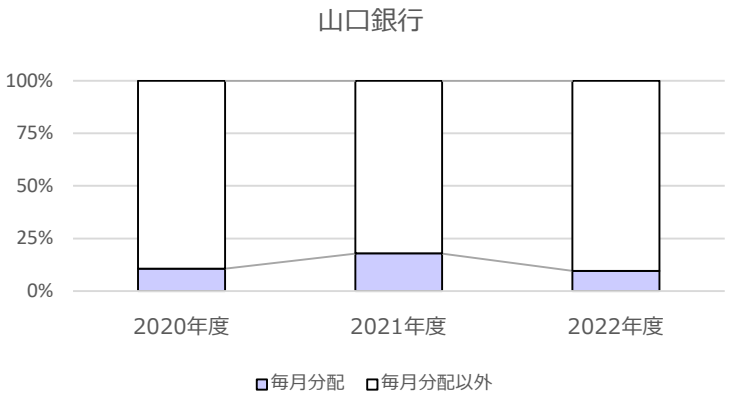


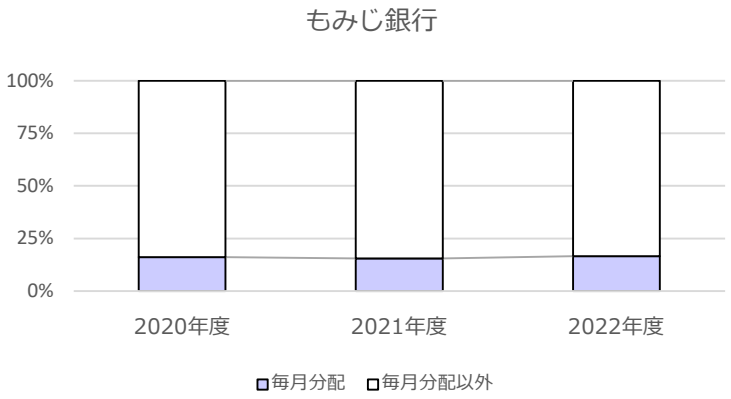


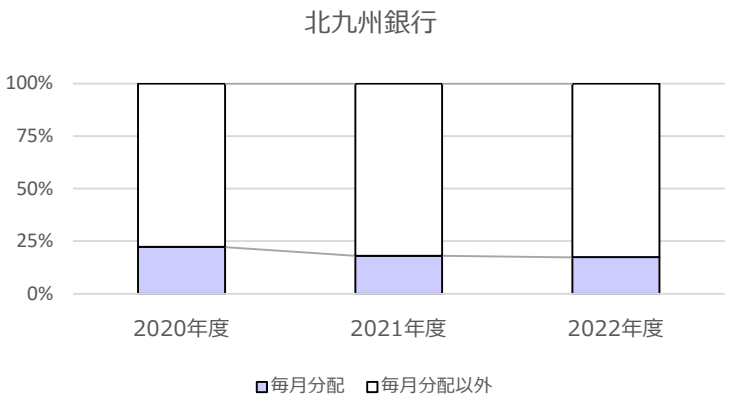
2．投資信託に関する取組状況

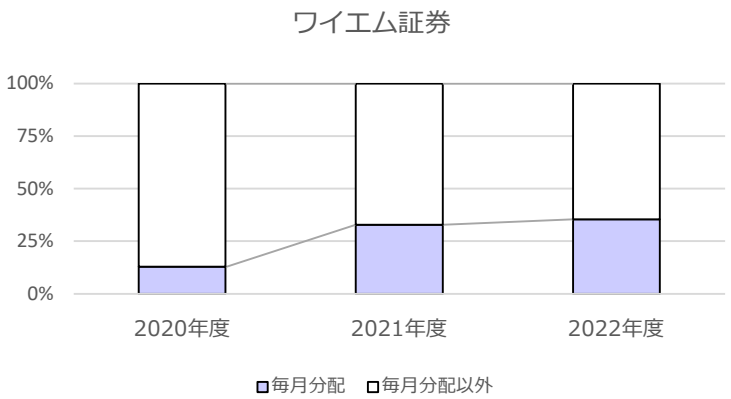
⑦ 毎月分配型投資信託の販売比率

- 中長期的の資産成長を目指すお客さまに対しては、毎月分配型の投資信託は推奨しておりません。









3．生命保険に関する取組状況

① 商品ラインアップ

- お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めてまいります。
- 商品ラインアップについては、金融環境の変化やお客さまのニーズに合わせて随時見直すとともに、各種資料（パンフレットや契約締結前交付書面等）を用いた分かりやすい情報提供に努めてまいります。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（一時払保険、2023年３月末時点）

		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		保険ひろば	
		商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
円建て	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	終身	4	19.0%	4	19.0%	4	19.0%	0	0.0%
	合計	4	19.0%	4	19.0%	4	19.0%	0	0.0%
外貨建て	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	4	19.0%	4	19.0%	4	19.0%	0	0.0%
	終身	13	61.9%	13	61.9%	13	61.9%	3	100.0%
	合計	17	81.0%	17	81.0%	17	81.0%	3	100.0%
合計		21	100.0%	21	100.0%	21	100.0%	3	100.0%

※保険ひろばに関しては、推奨商品数を記載しております。

3．生命保険に関する取組状況

① 商品ラインアップ

- お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めてまいります。
- 商品ラインアップについては、金融環境の変化やお客さまのニーズに合わせて随時見直すとともに、各種資料（パンフレットや契約締結前交付書面等）を用いた分かりやすい情報提供に努めてまいります。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（平準払保険、2023年３月末時点）

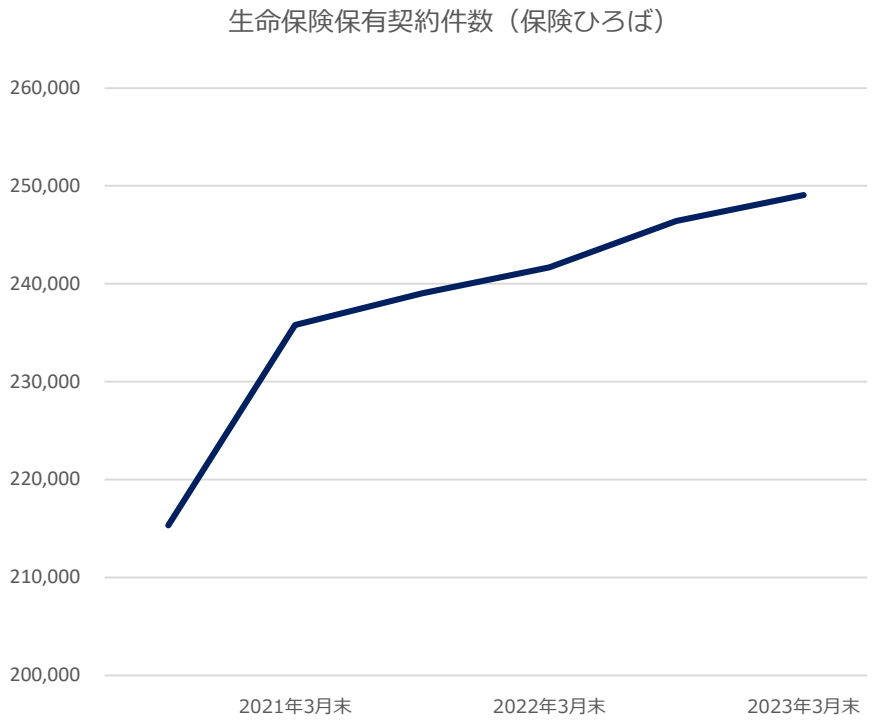
	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		保険ひろば	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
医療	6	16.7%	6	16.7%	6	16.7%	10	25.6%
ガン	6	16.7%	6	16.7%	6	16.7%	3	7.7%
収入保障 就業不能	2	5.6%	2	5.6%	2	5.6%	7	17.9%
年金	3	8.3%	3	8.3%	3	8.3%	3	7.7%
終身	3	8.3%	3	8.3%	3	8.3%	5	12.8%
変額	1	2.8%	1	2.8%	1	2.8%	6	15.4%
定期	14	38.9%	14	38.9%	14	38.9%	3	7.7%
学資	1	2.8%	1	2.8%	1	2.8%	2	5.1%
合計	36	100.0%	36	100.0%	36	100.0%	39	100.0%

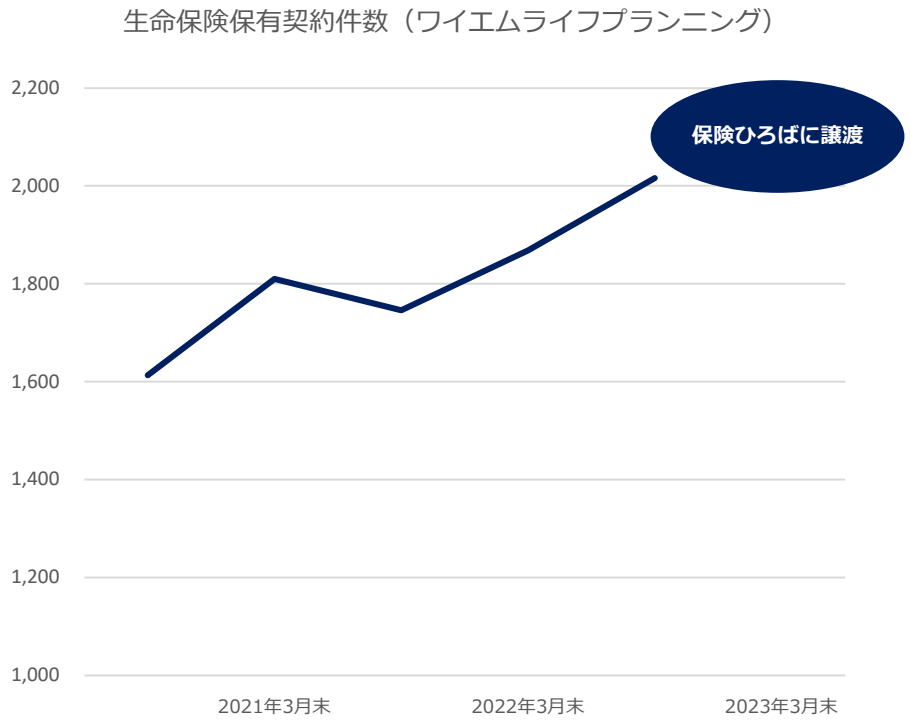
※保険ひろばに関しては、推奨商品数を記載しております。

3．生命保険に関する取組状況

② 生命保険保有契約件数（保険ひろば・ワイエムライフプランニング）

- 保険ひろばにおける生命保険契約件数は増加傾向にあります。
- 2023年３月を以って、ワイエムライフプランニングは全ての生命保険契約を保険ひろばに譲渡し、保険代理店業務を停止しております。

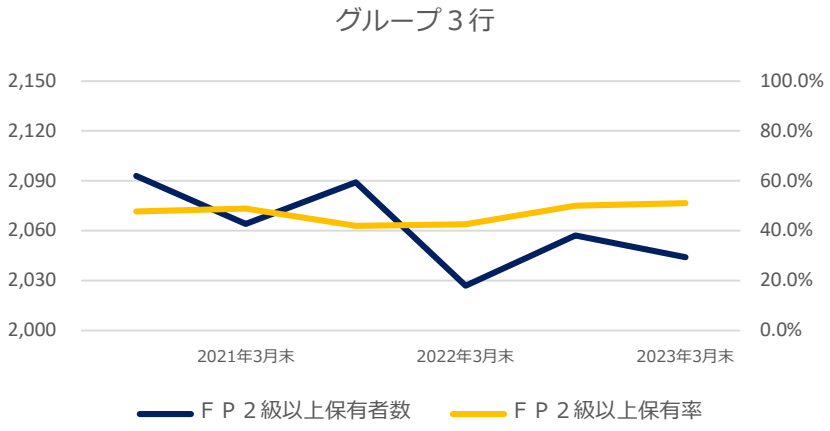


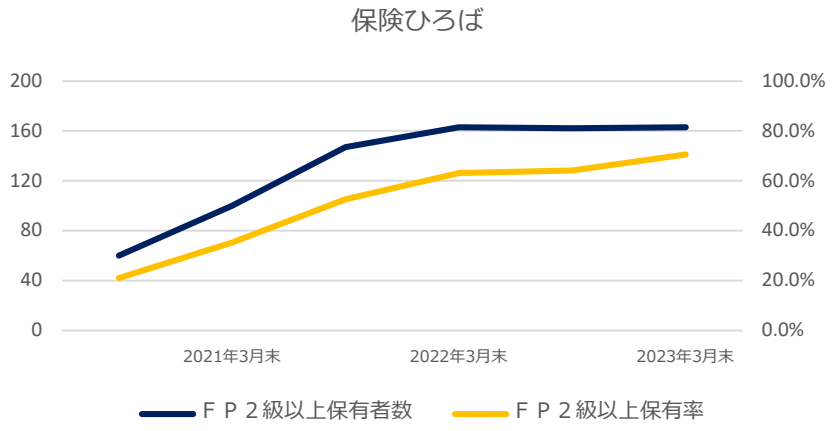


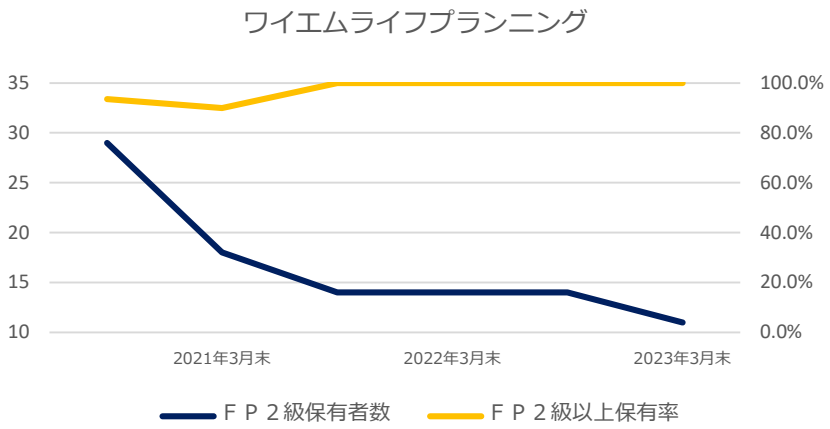
４．その他の取組状況

① ＦＰ資格保有者数・保有率

- 専門的な情報を分かりやすくお客さまに提供できる人材を育成するため、ＦＰ１級およびＦＰ２級の資格取得を奨励しております。
- 職員の自己啓発につながる研修や勉強会を実施しております。







4．その他の取組状況

② アフターフォロー実施状況

- 当社グループでは、担当者によるご面談・ご連絡、書面等を通じた定期的なアフターフォローにより、運用状況などの情報提供を実施しております。
- グループ各社においてアフターフォローを適切に行い、重要な情報の提供を行っております。

投資信託	2020年度		2021年度		2022年度	
	対象先数	実施率	対象先数	実施率	対象先数	実施率
山口銀行	849	100%	922	100%	949	100%
もみじ銀行	750	100%	817	100%	854	100%
北九州銀行	115	100%	132	100%	169	100%
ワイエム証券	43,407	100%	48,949	100%	41,417	100%

生命保険	2020年度		2021年度		2022年度	
	対象先数	実施率	対象先数	実施率	対象先数	実施率
山口銀行	6,063	100%	6,095	100%	5,701	100%
もみじ銀行	4,707	100%	4,809	100%	5,489	100%
北九州銀行	557	100%	484	100%	448	100%
ワイエム ライフプランニング	624	100%	519	100%	708	100%
保険ひろば	139,108	100%	104,593	100%	134,254	100%

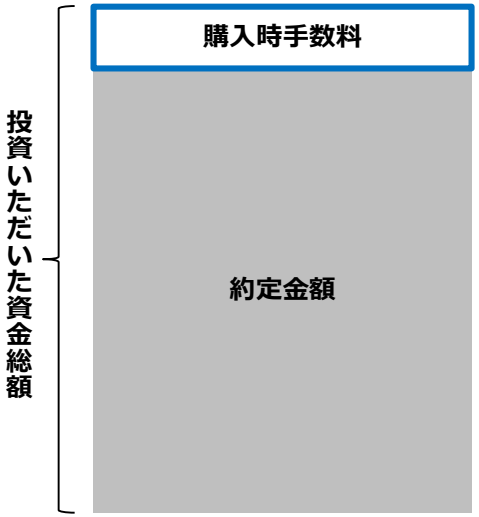
※保険ひろばの2020年度分に関しては実施件数を記載

4．その他の取組状況

③ 手数料に関するご説明

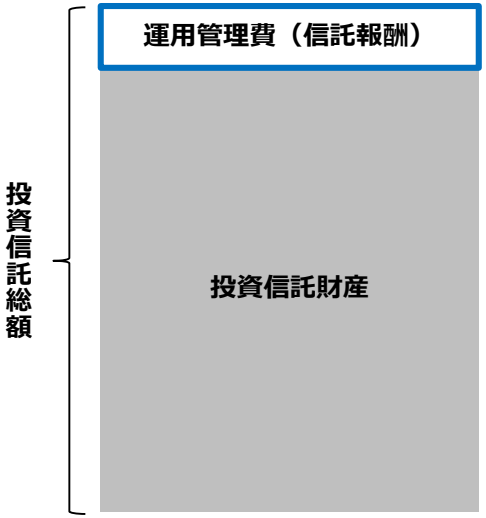
- 当社グループでは、個人のお客さま向け主要商品として投資信託・生命保険を取り扱っており、商品のご説明や事務手続きの対価として、手数料を頂戴しております。
- お客さまへのご提案の際に、各種手数料について重要情報シート等を用いた分かりやすい説明を行うよう努めてまいります。

投資信託（購入時）



※商品説明・事務手続きに伴う対価として、購入時に頂戴しております。

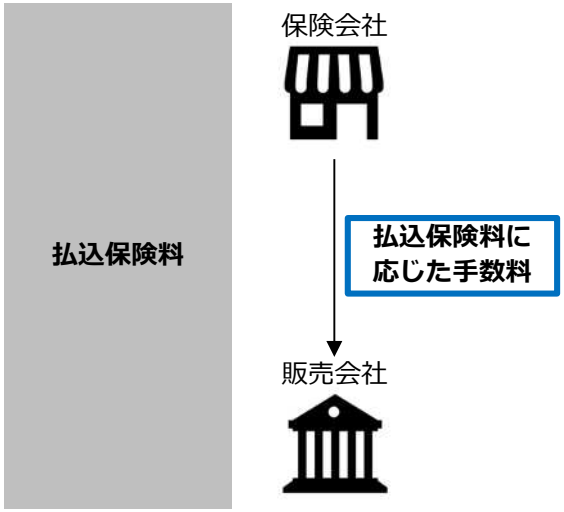
投資信託（運用中）



※運用管理に伴う対価として、あらかじめ定められた料率で日々計算され、投資信託財産から支払われます。

※信託報酬は「委託会社分」「販売会社分」「受託会社分」で構成されており、弊社グループが頂戴するものは**「販売会社分」**となります。
注）ワイエムアセットマネジメントは「委託会社分」となります

生命保険



※生命保険の場合、弊社グループがお客さまから直接手数料をいただくことはありません。

※保険商品や払込保険料・契約形態に応じた手数料を保険会社から頂戴しております。

４．その他の取組状況

④ 利益相反に係る管理方針

- 当社グループにおける利益相反管理に関する対応方針として、内部規程である「利益相反管理規程」を公表しております。

1. 管理対象会社

グループ銀行、グループ銀行を所属銀行とする銀行代理業者および銀行関連業務・金融商品関連業務を行う当社グループ会社・関連会社とします。（以下、対象グループ会社）

2. 組織・管理態勢

山口フィナンシャルグループのコンプライアンス統括部を統括部署とし、統括部署の担当役員が利益相反管理統括責任者として、対象グループ会社の利益相反取引にかかる管理態勢を統括します。

3. 利益相反取引の定義および取引類型

利益相反取引とは、対象グループ会社とお客さまとの取引にあたりお客さまの利益を不当に害する取引、および対象グループ会社と複数のお客さまとの取引にあたりいずれかのお客さまの利益を不当に害する取引をいいます。お客さまの利益を不当に害する取引の類型は、次のとおりです。

取引類型	対象グループ会社とお客さま	お客さまと他のお客さま
利害対立型	対象グループ会社とお客様の利害が対立する取引	対象グループ会社のお客様同士の利害が対立する取引
競合取引型	対象グループ会社とお客様が競合する取引	対象グループ会社のお客様同士が競合する取引
情報利用型	対象グループ会社がお客様との関係を通じて取得したお客様の情報を利用して、対象グループ会社が不当に利益を得る取引	対象グループ会社がお客様との関係を通じて取得したお客様の情報を利用して、他のお客様が不当に利益を得る取引

4. 管理プロセス

当社グループは、利益相反取引の未然防止を図るため、以下のとおり、適切な管理を実施します。

（１）報告

対象グループ会社は、各社で発生したお客様との取引において利益相反のおそれがあると判断した場合は、遅滞なく統括部署に報告します。

（２）特定

統括部署は、報告を受けた取引について、お客様の利益を不当に害するか否かの観点から実質的に検討し、管理する必要のある取引を特定します。

（３）管理方法

統括部署は、想定される利益相反の内容に応じて、次の管理方法を選定します。

１．お客さまとの取引を行う業務部門の情報遮断（情報共有先の制限）
２．お客さまとの取引の条件または方法の変更
３．お客さまとの取引の中止
４．利益相反のおそれがあることのお客さまへの開示（お客さまの同意を必要とする場合があります）
５．その他お客さまの保護を適切に確保する方法

（４）記録・保存

統括部署は、利益相反管理のプロセス（報告、特定および管理方法等）を適切に記録・保存します。

5. 教育・指導および改善活動

当社グループは、役職員に対して利益相反管理にかかる指導・研修等を継続的に実施し、利益相反管理にかかる意識の向上に努めます。

４．その他の取組状況

⑤ ご高齢のお客さまに対する募集

- 日本証券業協会が作成したガイドライン「高齢顧客に対する勧誘による販売について」に基づき、ご高齢のお客さまに対する募集については、より丁寧な意思確認等を行っております。

当社グループ銀行における主な対応（2023年６月30日現在）

① 高齢者を70歳以上とし、80歳以上のお客さまに対してはより慎重な対応を行っております。
② 70歳以上80歳未満のお客さま
　I. 勧誘留意商品（※）以外の募集を行う場合は、可能な限りご家族に同席いただくことで、より慎重な確認を行っております。
　また、注文の前後で役席者がお客さまに確認の電話を行い、申込内容をご理解いただいていることを確認しております。
　II. 勧誘留意商品の募集を行う場合は、上記に加え、内部管理責任者による事前承認の前に面談等によって、役席者が適合性を確認しております。
③ 80歳以上のお客さま
　I. 上記②に加え、原則としてご家族に同席いただくほか、勧誘留意商品の募集に関しては初回説明・勧誘の当日に募集・購入申込を受けることは原則不可とすることで、より慎重な意思確認を行っております。
　II. 勧誘留意商品に関しては約定後、時間をおいて一週間以内に約定結果を通知のうえ、再度申込内容の理解度・取引を行ったことへの理解度を確認しております。

※勧誘留意商品・・・下記「勧誘可能な商品」として定めている商品以外の商品
　勧誘可能な商品
　①比較的変動が小さく、仕組みが複雑でなく、換金性が高い商品
　　・国債等
　　・公社債を中心に投資し安定的な運用を目指す投資信託
　　・米ドル、ユーロ、豪ドル建で上記に相当する投資信託等
　②周知性の高い商品、時々刻々価格が変動する商品
　　・日経２２５やＴＯＰＩＸに連動する投資信託等

4．その他の取組状況

⑥ 重要情報シート

- 2022年４月より、金融庁が活用を推奨する「重要情報シート」をグループ銀行、ワイエム証券およびワイエムライフプランニングにて導入しております。
- 当社グループにおける商品組成会社であるワイエムアセットマネジメントは、重要情報シート作成のための自社ファンド情報を販売会社に提供しております。

～重要情報シートとは～

- お客さまに対して簡潔に分かりやすく商品のリスク・手数料等の情報を提供し、比較を容易にするための資料です。
- 販売会社の基本情報・取扱商品・ラインアップ等を記載した「金融事業者編」と商品の内容・リスク・費用等を記載した「個別商品編」の２種類に分かれています。

＜ご参考＞グループ会社における重要情報シート（金融事業者編）

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る重要情報シート

1．当行の基本情報

社名	株式会社山口銀行
登録番号	中国財務局長（登金）第６号
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
当行の概要を記したウェブサイト	https://www.yamaguchibank.co.jp/

2．取扱商品（当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

預金（投資性なし）	○	預金（投資性あり）	○
国内株式	△（※1）	外国株式	△（※1）
円建債券（※1）	△（※1）	外貨建債券	△（※1）
特殊な債券（仕組債等）	－	投資信託	○
ラップ口座	△（※1）	ETF	△（※1）
REIT	△（※1）	その他の上場商品	△（※1）
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
これら以外の商品	iDeCo（個人型確定拠出年金）等も取扱っております。		

（※1）ワイエム証券への金融商品仲介によりご案内しております。

（※2）当行では現在、公共債を取扱っております。

3．商品ラインアップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

- お客さま一人ひとりのご資産の状況・取引経験・知識・目的・ニーズおよびライフプラン等を踏まえた上で、お客さまの最善の利益に資するコンサルティングを行えるよう、幅広くラインアップを整備しております。
- 運用商品に関しては、お客さまの国際分散投資のお役に立てるよう、多様なカテゴリからバランスよく商品を取り揃えております。また、下記のいずれかに当てはまるものを選定してお勧めいたします。
  ① 過去のリスク対比収益性が優れており、運用会社において厳石な分析体制のもと運用されているもの
  ② 経済動向等を考慮し、中長期の観点から優れた運用成果が期待できるもの
  ③ お客さまのライフプランに応じたお受取りや万一の場合の生活の支えになることが期待されるもの
- 当行においては、預金・保険・投資信託を主に取扱っており、株式等の金融商品につきましては、グループ会社であるワイエム証券への金融商品仲介によりご提供いたします。

4．苦情・相談窓口

当社お客さま相談窓口（受付時間：平日９時～17時30分）		083-223-8075
加入協会共通の相談窓口	全国銀行協会相談室（受付時間：平日９時～17時）	0570-017109（03-5252-3772）
	特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせんセンター（受付時間：平日９時～17時）	0120-64-5005
保険商品の相談窓口	一般社団法人生命保険協会　生命保険相談所（受付時間：平日９時～17時）	03-3286-2648
金融庁金融サービス利用者相談室（受付時間：平日10時～17時）		0570-016811（03-5251-6811）

2022年10月現在

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

重要情報シート（金融事業者編）

ワイエム証券

2022年4月1日

1．当社の基本情報 当社はお客さまに金融商品の販売をする者です

社名	ワイエム証券株式会社
登録番号	中国財務局長（金商）第8号
加入協会	日本証券業協会
当社の概要を記したウェブサイト	https://www.ymsec.co.jp/

2．取扱商品 当社がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです

預金（投資性なし）	－	預金（投資性あり）	－
国内株式	○	外国株式	○
円建債券	○	外貨建債券	○
特殊な債券（仕組債等）	○	投資信託	○
ラップ口座	○	ETF、ETN	○
REIT	○	その他の上場商品	○
保険（投資リスクなし）	－	保険（投資リスクあり）	－
これら以外の商品			

3．商品ラインナップの考え方 商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです

- 当社は、山口フィナンシャルグループの一員として、銀行では取り扱っていない商品・サービスを幅広く提供することにより、お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えし、地域のお役に立ちたいと考えております。
- 運用商品に関しては、運用会社から支払われる手数料やグループ会社から提供される商品に捉われることなく、中長期投資を中心とした商品の運用実績、内外環境や市場動向などを踏まえて、多様な商品群の中からお客さまに ふさわしい商品を選定いたします。
- お客さまの投資経験・投資スタイルにあわせて、比較的リスクが小さく商品内容がわかりやすい商品から、有価証券投資のご経験が豊かなお客さまのニーズにお応えする商品まで、幅広く取り揃えております。

4．苦情・相談窓口

当社お客さま相談窓口	083-223-0190（受付時間：平日9時30分～17時30分）
加入協会共通の相談窓口 特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）	0120-64-5005（受付時間：平日9時～17時）
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811（03-5251-6811）

「重要情報シート」（金融事業者編）

1．当社の基本情報　（当社はお客様に金融商品の販売仲介をする者です）

社名	株式会社ワイエムライフプランニング
登録番号	中国財務局長（金仲）第76号 中国財務局長（銀代）第188号
加入協会	－
当社の概要を記したウェブサイト	https://www.ymlp.co.jp/

2．取扱商品　（当社がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

預金（投資性なし）	○（銀行代理業）	預金（投資性あり）	－
国内株式	○（金融商品仲介業）	外国株式	○（金融商品仲介業）
円建債券	○（金融商品仲介業）	外貨建債券	○（金融商品仲介業）
特殊な債券（仕組債等）	○（金融商品仲介業）	投資信託	○（金融商品仲介業）
ラップ口座	－	ETF、ETN	○（金融商品仲介業）
REIT	○（金融商品仲介業）	その他の上場商品	－
保険（投資リスクなし）	○（保険代理業）	保険（投資リスクあり）	○（保険代理業）
これら以外の商品	株券等貸借取引、金・銀・プラチナ、eワラント、STO（金融商品仲介業）		

※金融商品仲介業については、SBI証券、山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行、ワイエム証券と仲介契約を締結しております。

3．商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

・当社は、グループ総合力を発揮することで、多様化するお客さまのニーズに応え、きめ細やかなコンサルティングを通じて、お客さま一人ひとりの生活設計に合わせたプランニングの実践を行ってまいります。
・当社では、お客さまの状況（ニーズ・目的、金融知識・取引経験・財産の状況など）を踏まえて、銀行代理業、金融商品仲介業、保険代理業の許認可を得て、商品・サービスを幅広く取り揃えて、お客さまに合った最適な商品をご提供いたします。

※当社は、株式会社山口銀行、株式会社もみじ銀行、株式会社北九州銀行と銀行代理業に関する契約を締結し、預金（投資性なし）を提供しております。
※株式会社SBI証券、株式会社山口銀行、株式会社もみじ銀行、株式会社北九州銀行、ワイエム証券株式会社と金融商品仲介契約を締結し、国内株式等の金融商品を提供しております。提供する商品内容は仲介先ごとに異なるため、契約前にご確認ください。
※生命保険会社17社、損害保険会社9社と生命保険代理店契約を締結しており、お客さまのニーズに合った商品をご提供させていただきます。

4．苦情・相談窓口

当社お客様相談窓口	083-223-5160【受付時間】平日9時～17時
特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせん相談センター	0120-64-5005【受付時間】平日9時～17時
生命保険協会　生命保険相談所	03-3286-2648【受付時間】平日9時～17時
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811（03-5251-6811）【受付時間】平日10時～17時

※各所属金融商品取引業者の窓口は各社の契約締結前交付書面をご参照ください。

※グループ銀行・ワイエム証券・保険ひろば・ワイエムライフプランニングでは商品組成は行っておりません

４．その他の取組状況

⑦ お客さま本位の業務運営に関するアクションプラン

- お客さま本位の業務運営に関するアクションプランを年度毎に策定し、進捗状況をモニタリングしております。
- 弊社グループ銀行の2023年度アクションプランは、下記のとおりです。（銀行以外に関しては、各社ＨＰをご参照ください）

1. ポートフォリオ提案の浸透

・お客さまのリスク許容度や資産状況等を確認のうえ、ポートフォリオ分析ツール等を活用して、複数商品を比較提示し、最も適した投資プランを提案します。

2. 商品ラインアップの整備

・グループ会社の商品に関係なく、幅広い運用会社や保険会社等が取扱う商品から、お客さまの資産形成に資するラインアップを整備します。
・お客さまのご意見やパフォーマンス実績、外部機関の評価をもとに、定期的にラインアップの見直しを行います。

3. 資産管理伴走体制の構築

・お客さまとの定期面談を通じて、ポートフォリオの運用状況の検証・必要に応じたリバランス提案や他ニーズの発掘等を行い、お客さまとの長期伴走関係を築きます。

4. アフターフォロー体制および管理態勢の整備

・お客さまの意向のみでなく、プロフェッショナルとして提案するよう、関連各部による指導を実施します。
・お客さまに応じたアフターフォロー体制を整備し、迅速かつきめ細やかなフォローを行います。

5. グループ連携力の強化

・お客さまそれぞれの特性に応じて、「ワイエム証券」や「保険ひろば」と連携し、最適な商品・サービスの提供を行います。

6. 人財育成・評価体系の整備

・お客さまに対するコンサルティング手法を組織知化することで、商品提案・説明力を強化します。
・担当者の知識・コンサルティングスキルを可視化し、研修の多様化や高度化を図ります。
・納得感のある社内資格制度に改定し、スキルアップのモチベーションを高めます。

7. 金融リテラシー向上にかかる活動の実践

・地域の方々の金融リテラシー向上のため、金融経済教育・投資教育の支援を行います。

４．その他の取組状況

⑧ リスク性金融商品に関する販売の方針

- 2022年度において、リスク性金融商品の販売に関する社内ルールを見直しております。
- 仕組債については、お客さまの中長期的な資産形成に資するといえないと考え、2022年10月より、当社グループ各社において販売を停止しております。

商品	見直し後の社内ルール
仕組債	当社グループ各社において販売を停止する。
ファンドラップ	以下を説明し、内容を記録する。 ①投資信託の信託報酬に加えて、ファンドラップ特有のコストが発生すること ②バランスファンドとの機能・コスト面での違い
新興国通貨建て債券	以下を説明し、内容を記録する。 ①対象通貨の長期為替チャート ②円決済の場合、対象通貨の為替手数料および円換算での利回り ③リスク性金融資産のうち、新興国通貨建て債券の割合が２０％超となる場合、その妥当性
外貨建て一時払保険	以下を説明し、内容を記録する。 ①運用目的の場合、外国債券で運用した場合と比較した利回り ②損益分岐点為替レート ③リスク性金融資産のうち、為替リスクを内包する資産の割合が３０％超となる場合、その妥当性
仕組預金	①個人のお客さまについて、過去に経験がある方のみとする。 ②お客さまの収益と比較し、当社の手数料が過大にならないよう手数料水準を設定する。